



2026 年第 41 週(10 月 5 日~10 月 11 日)

Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka

感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に
基づく感染症発生動向調査より

作成 静岡県健康福祉部感染症対策課／静岡県環境衛生科学研究所

(2026 年 10 月 16 日公開)

インフルエンザは注意報レベルとなっています(第41週10.40)

2026年第40週(9/28～10/4)に、静岡県内のインフルエンザの定点当たり患者数が11.69人に増加し、注意報レベルの基準値(定点当たり患者数10人)を超えました。

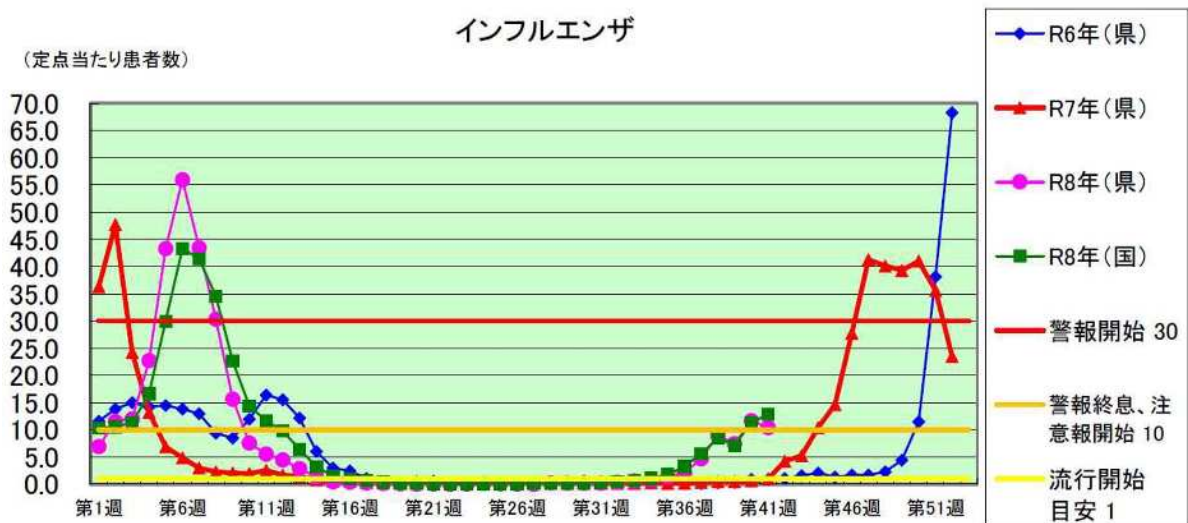
第40週での注意報入りは、記録が残る2002年以降、2023年と並び、最も早い注意報入りとなります。

第35週(8/24～30)に定点当たり患者数が1.35人となり流行期になってから、患者数が増加しています。例年は12月下旬から1月中旬頃に注意報入りし、2～4週間後に警報レベルとなることが多くなっています。

今後、さらに流行が拡大すること考えられますので、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。また、医療機関でワクチン接種が開始されていますので、接種の検討をお願いします。

※インフルエンザの定点当たり患者数とは、県内の内科・小児科定点医療機関から報告された1週間の患者数を機関数で割った数値です(県内の内科・小児科定点医療機関数：2026年第13週までは139、2026年第14週からは112、2026年第18週からは108)。

※流行開始の目安とされている定点当たり患者数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。



RS ウイルス感染症が流行しています(第 41 週 2.74)

RSウイルス感染症には、国が定める注意報や警報の基準値はありませんが、静岡県では、定点医療機関当たり1週間の報告数が 0.5 で「流行が始まる可能性あり」、1 以上で「流行期に入っている」と考えています。

静岡県内のRSウイルス感染症の定点医療機関当たり 1 週間の報告数は、昨年 10 月下旬以来、約 10 か月ぶりに定点医療機関あたり 1 人を超え、増加が加速しています。なお、県内の患者の年齢は、約 80%が 2 歳以下です。

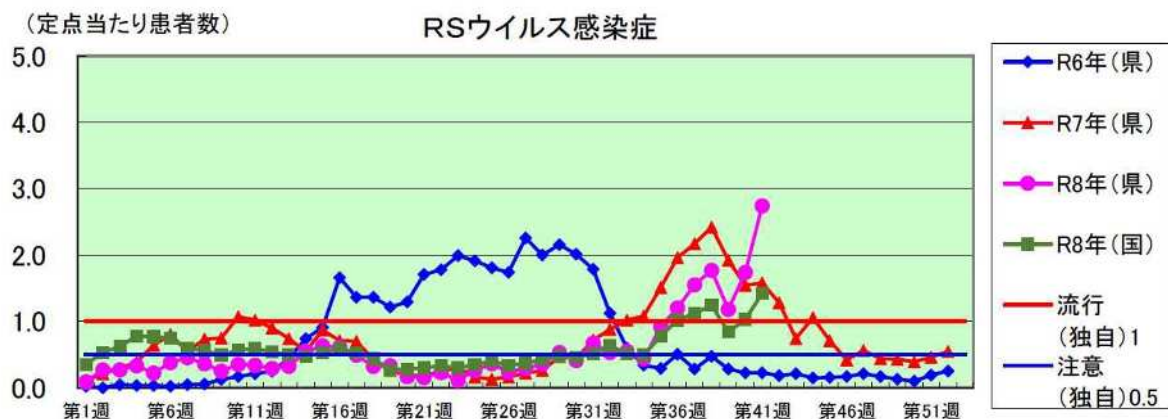
RSウイルス感染症は、飛沫感染(咳、くしゃみの飛び散り)や接触感染(鼻水や痰、だ液等を触る)でうつります。うつってから発症するまでの潜伏期間は約 5 日、人にうつす感染期間は発症後約 1 週間です。

症状は、発熱、咳、鼻水、喘鳴(ぜーぜー、ひゅーひゅーの呼吸)です。年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむ場合も多いですが、乳児早期(特に 2 か月以下の赤ちゃん)に感染した場合は、急性細気管支炎や肺炎となり、哺乳低下や呼吸困難で入院したり、さらには人工呼吸管理を要したりすることもあります(感染した乳幼児の約 30 人に 1 人は入院するという報告もあります)。

RSウイルス感染症専用の有効な治療法はなく、水分補給の点滴や酸素投与などの対症療法のみです。赤ちゃんがいる家庭では、かぜ症状のある方から赤ちゃんにうつさないようにマスク着用や手洗いを励行してください。赤ちゃんが、咳鼻水やぜーぜーで、ミルクの飲む量が減ってきたら、早めに小児科医院を受診しましょう。

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/rs/010/rs-intro.html>



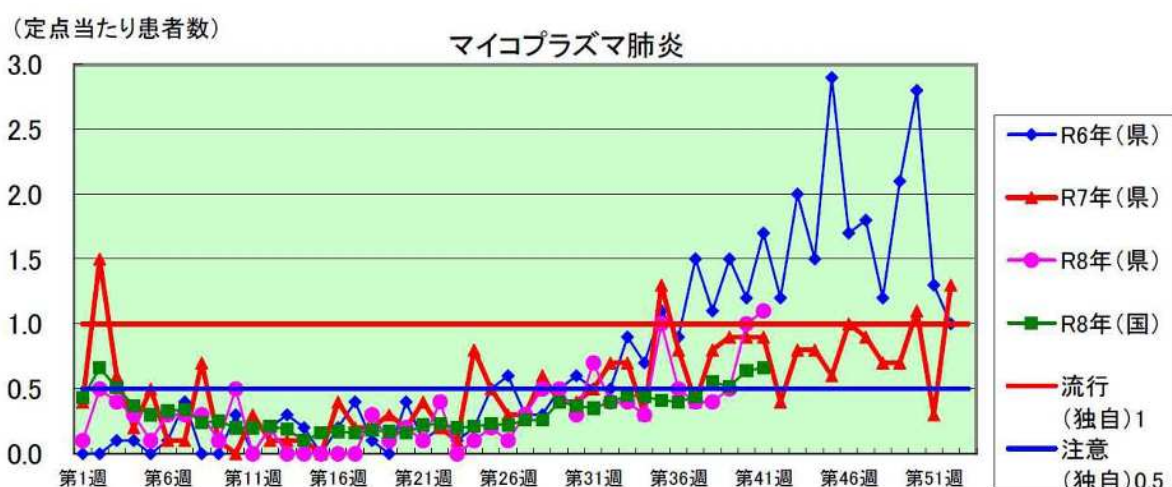
マイコプラズマ肺炎が再度流行しています(第41週1.10)

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによる細菌感染症です。感染経路は、主に飛沫感染と接触感染で、家族内や学校など濃厚接触が多い場所で、しばしば集団発生が起こります。潜伏期間は2～3週間程度で、主な症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などで、解熱後も咳が長く続くことがあります。必ずしも肺炎にならず、上気道炎や気管支炎も多いです。全年齢層に感染が見られますが、若年齢層に多く、14歳以下が6～8割を占めます。過去の疫学調査研究では、3～7年程度に1回国内で大きな流行が起こっています。

マイコプラズマ肺炎は2024年6月に定点あたり患者数が0.5を超えて、長期間の流行期に入っていました。2026年第10週(3/2～8)の0.5以降、0.5を下回っていましたが、第28週(7/6～12)以降、定点あたり患者数※0.5以上が続いており、第40週(9/28～10/4)は1.0となりました。国は基準値を定めていませんが、県感染症情報センターでは、0.5以上が継続した場合、流行が始まる可能性あり、1以上では確実に流行していると考えています。(県内の定点あたり患者数が1以上となったのは、2025年第52週(12/22～28)以来です。)

県民の皆様には、引き続き、人混みでのマスク着用、咳エチケット、適切な換気と手洗いなど、飛沫・接触感染の対策に御協力をお願いします。

※マイコプラズマ肺炎の定点あたり患者数とは、県内10の基幹定点医療機関から報告された1週間の患者数を施設数10で割った数値です。



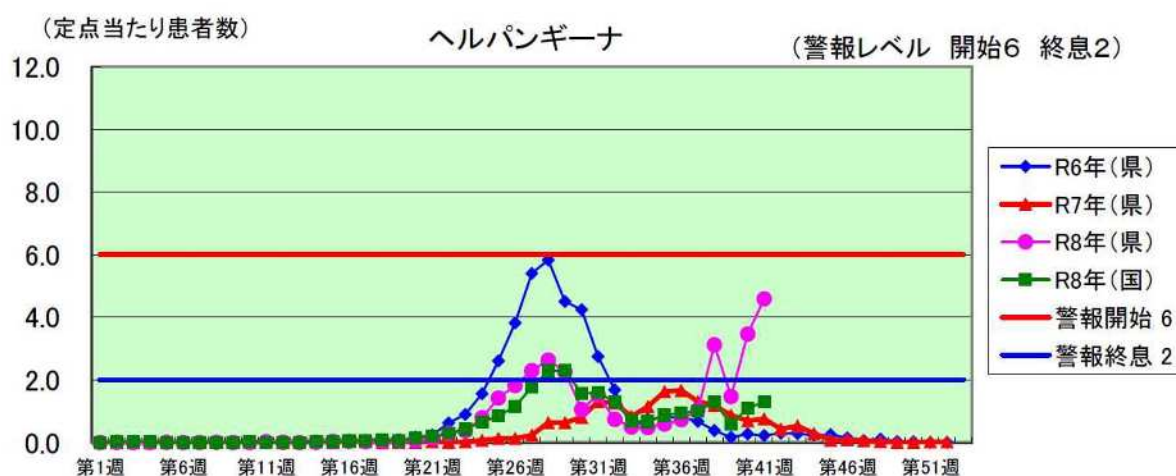
ヘルパンギーナの流行が警報レベル目前です(第41週4.59)

2026年第20週(5/11～17)のから定点当たり患者数が増加し、第28週(7/6～12)に定点あたり患者数2.64とピークとなり、第29週(7/13～19)以降は減少傾向でした。第35週(8/24～30)から再び、増加に転じ、第38週(9/14～20)からは急増し、**第41(10/5～11)は定点あたり患者数4.59と警報レベル目前となりました(警報レベルの基準値:定点あたり患者数6人)**。年齢別の患者割合は5歳以下の未就学児が約85%以上です。

ヘルパンギーナは主に夏から秋にかけて流行する感染症で、急な高熱、咽頭痛、口腔粘膜の発疹が主症状です。咳やくしゃみによる飛沫感染、便や水疱からの接触感染などがありますので、手洗いを励行するとともに、排泄物を適切に処理することが大切です。

乳幼児は口内に病変がある場合には、飲食に痛みを伴い、食欲不振となることがあります。口の中の水疱に当たっても痛みが少ない薄味で軟らかい食事にしたり、少量ずつ分けて食べる等、水分補給、栄養補給に努めましょう。それでも水分が摂れず、尿の回数や量が減ってきたときや、高熱や嘔吐でぐったりしたり、頭痛が強いときは、医療機関を受診してください。また、受診に迷った際は、静岡こども救急電話相談(#8000)を御利用ください。

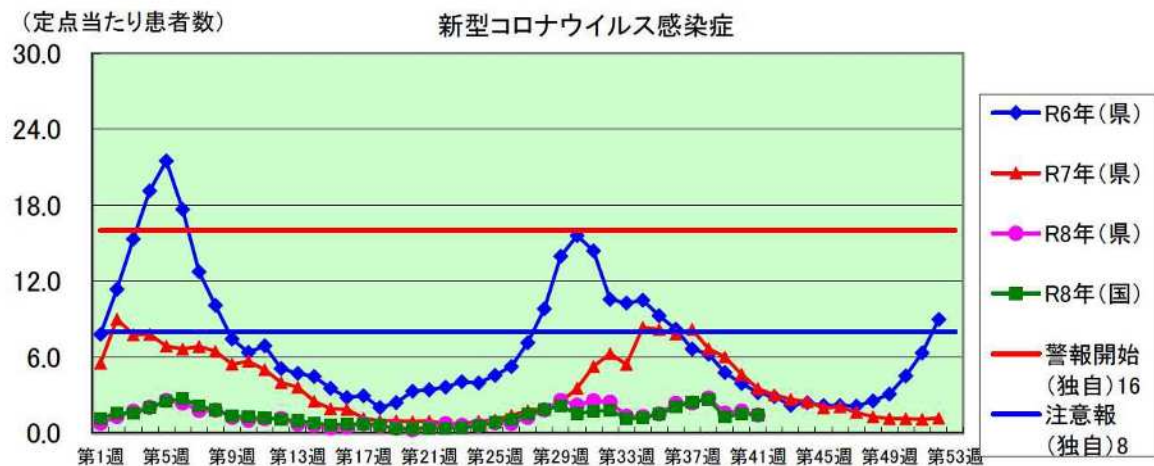
※警報レベルの開始は定点あたり患者数は6、警報レベルの終息は2です。



新型コロナウイルス感染症は約 1.0～2.5 を推移しています (第 41 週 1.41)

2026年第21週(5/18～24)から定点あたり患者数の増加傾向が続き、昨年と似た推移をたどっていました。しかし、第 32 週(8/3～9)から、患者数は減少傾向でしたが、第35週(8/24～30)から再度若干増加しています。

現在、感染拡大注意報基準である定点あたり8人を下回っていますが、県民の皆様には、引き続き、他の感染症の発生動向も御確認いただき、必要に応じて咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。



百日咳の流行は収まってきています(第 41 週2人)

2025 年第 28 週(7/7～14)は 84 人となり、全数把握感染症となった 2018 年以降の最高値を更新しました。(それまでの過去最高値は、2025 年第 26 週(6/23～29) 80 人です。)。2025 年末から、減少傾向にあり、流行が収まってきました。

2026 年第 11 週(3/9～3/15)からは 0～2 人となっています。(第 40 週(熱海1 人、浜松市1 人)。

コンコンという咳が連発してよる眠りにくい場合には、マスク可能な方は着用して、早めに受診しましょう。

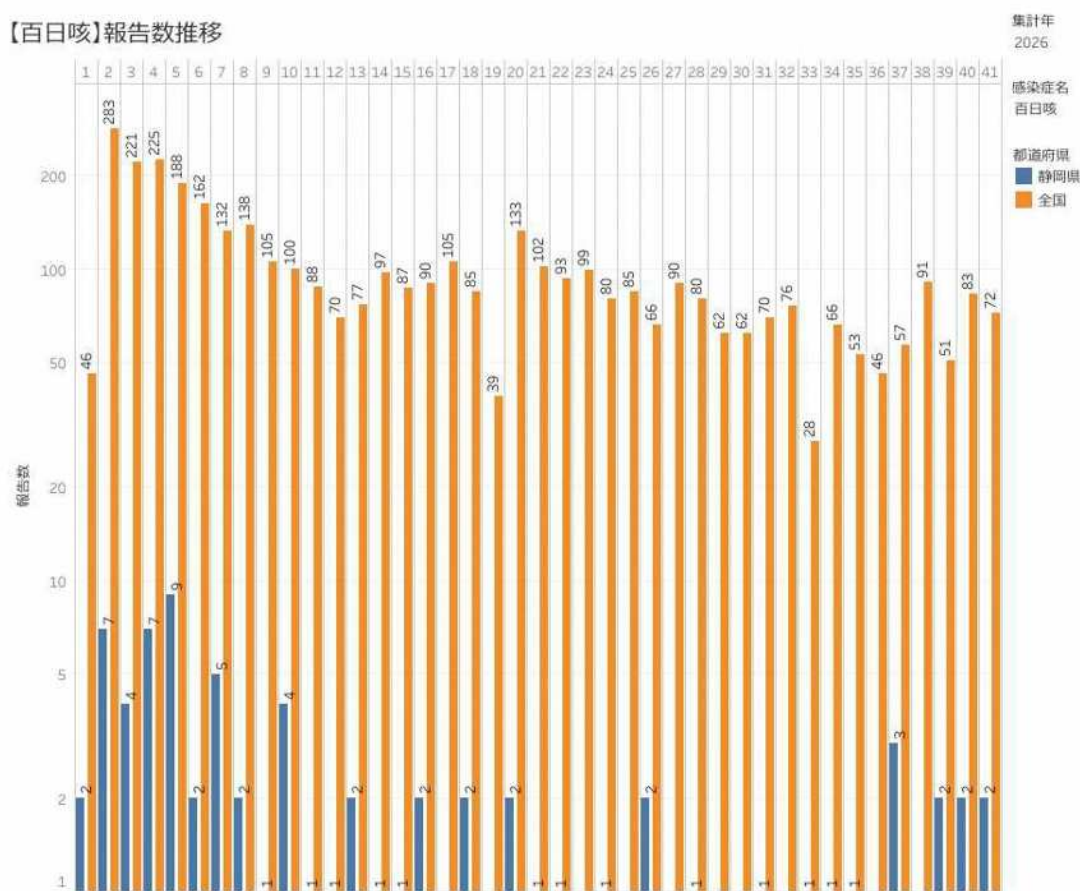
年齢分布では 10～14 歳が最多で、続いて 5～9 歳が多くなっています。百日咳を含むワクチンをまだ打っていない赤ちゃんがいる家庭で、兄弟が咳症状がある場合には赤ちゃんに近づかないようにしてください。

なお、生後 6 か月以下の赤ちゃんが百日咳にかかると呼吸がしにくくなるなど重症になる場合がありますので、2 か月になったらすぐに 5 種混合ワクチン(百日咳ワクチンを含んでいます)を接種しましょう。また、咳のひどい人は赤ちゃんの世話を避けることも大切です。

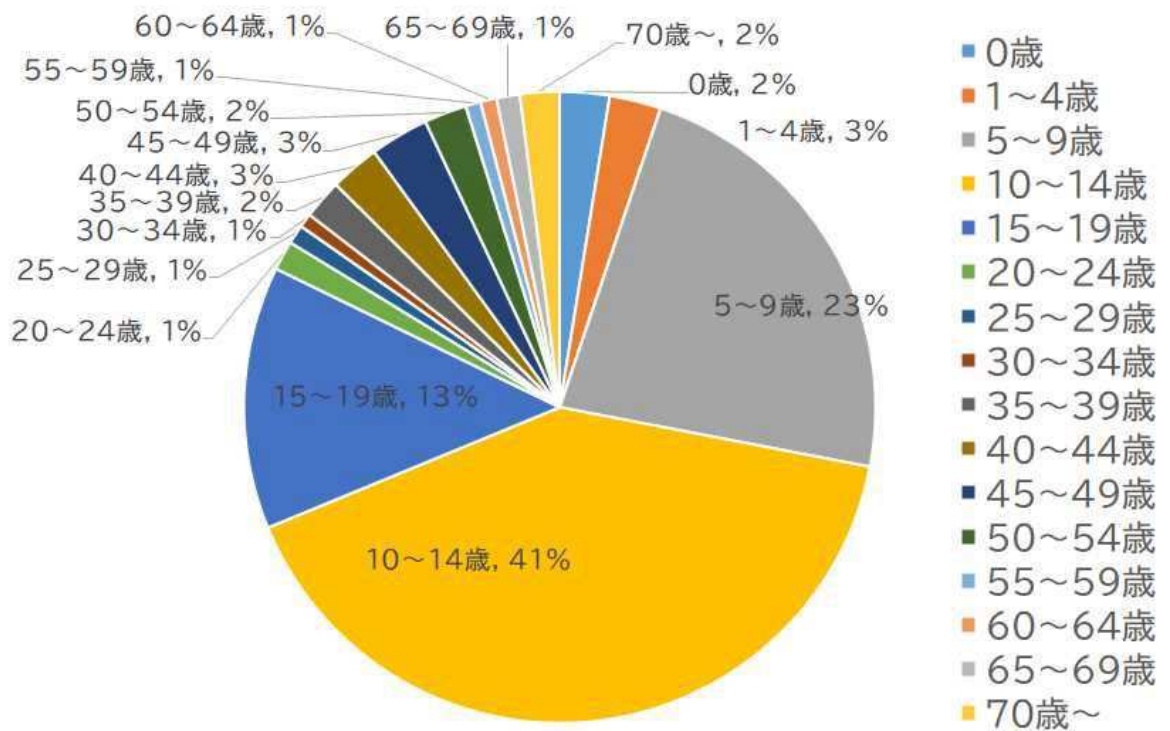
この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/>

【百日咳】報告数推移



年齢分布(2025年～2026年 累計1,931人)



◆全数届出の感染症

感染症分類	感染症名	保健所名	報告数
2類感染症	結核	東部	3
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	富士	2
		東部	1
		静岡市	1
4類感染症	エムボックス	浜松市	1
	レジオネラ症	静岡市	1
		中部	1
		浜松市	1
5類感染症	急性脳炎（ウイルス性脳炎、日本脳炎等を除く）	浜松市	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	中部	1
	梅毒	東部	1
		静岡市	1
		中部	2
		浜松市	1
	百日咳	熱海	1
		浜松市	1

保健所別の警報状況

警 報 インフルエンザ（御殿場）、ヘルパンギーナ（富士・中部・西部）

注意報 インフルエンザ（富士、静岡市、西部、浜松市）

警報・注意報・流行期入りの目安（新型コロナウイルス感染症以外）

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前：今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後：流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 （インフルエンザのみ）	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	－
感染性胃腸炎	20.0	12.0	－
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	－
伝染性紅斑	2.0	1.0	－
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	－
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

警報・注意報の目安（新型コロナウイルス感染症）

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口10万人当たり400人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

新型コロナウイルス感染症（県独自）		
保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
東部	8.0	16.0
御殿場	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

感染症発生動向調査

令和8年第41週(10/5～10/11)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未満で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

【五類感染症(定点把握)の追加:急性呼吸器感染症(ARI)】

将来的なパンデミックに備え、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等、すでに感染症発生動向調査の対象疾病となっている感染症以外が原因となる急性呼吸器感染症の発生傾向や発生水準を把握する目的で、急性呼吸器感染症(ARI)が、五類定点把握感染症に追加されることとなりました。(令和6年11月29日 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則改正 令和7年4月7日施行)

令和7年第15週から急性呼吸器感染症(ARI)も報告の対象となっています。

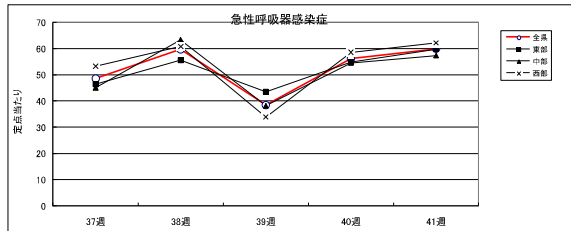
疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第41週(10/5～10/11)の感染症発生動向調査では、急性呼吸器感染症(ARI)は、59.96人となり前週の56.16人から増加しました。インフルエンザは、10.40となり前週の11.69から減少しました。ヘルパンギーナは、4.59人となり前週の3.47人から増加しました。RSウイルス感染症は、2.74となり前週の1.74から増加しました。感染性胃腸炎は、1.83人となり前週の2.00人から減少しました。新型コロナは、1.41人となり前週の1.73人から減少しました。

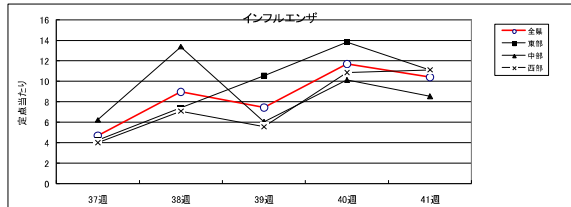
【急性呼吸器感染症】

全県で罹患数6,476、定点当たり59.96の患者発生があり、前週の56.16から増加した。定点当たり東部地区で59.76、中部地区で67.30、西部地区で62.16の患者が発生した。



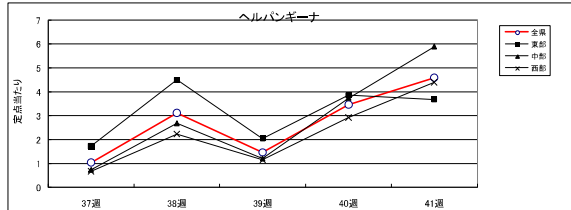
【インフルエンザ】

全県で罹患数1,123、定点当たり10.40の患者発生があり、前週の11.69から減少した。定点当たり東部地区で11.13、中部地区で8.53、西部地区で11.10患者が発生した。



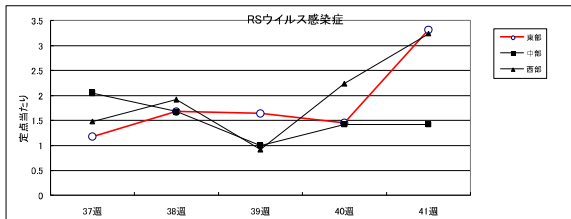
【ヘルパンギーナ】

全県で罹患数303、定点当たり4.59の患者発生があり、前週の3.47から増加した。定点当たり東部地区で3.68、中部地区で5.89、西部地区で4.40の患者が発生した。



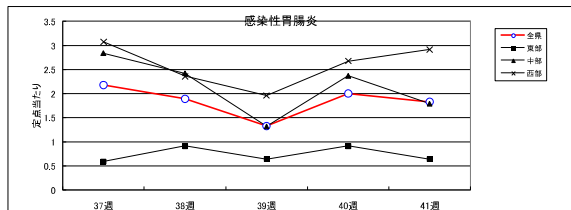
【RSウイルス感染症】

全県で罹患数181、定点当たり2.74の患者発生があり、前週の1.74から増加した。定点当たり東部地区で3.32、中部地区で1.42、西部地区で3.24の患者が発生した。



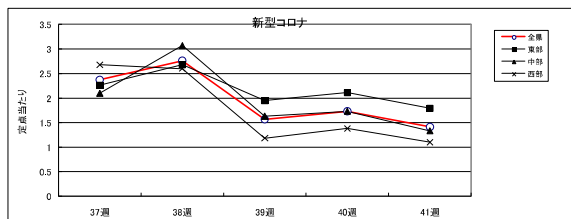
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数121、定点当たり1.83の患者発生があり、前週の2.00から減少した。定点当たり東部地区で0.64、中部地区で1.79、西部地区で2.92の患者が発生した。



【新型コロナ】

全県で罹患数152、定点当たり1.41の患者発生があり、前週の1.73から減少した。定点当たり東部地区で1.79、中部地区で1.33、西部地区で1.10の患者が発生した。



【その他】

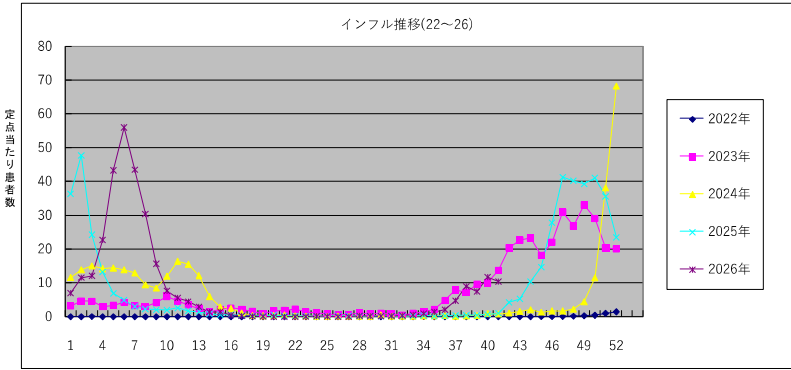
・麻疹、風疹は患者発生なし。

・全国のインフルエンザの定点当たりの患者報告数は12.81であり、前週の11.35から増加した。警戒レベルを有する都道府県は13、注意レベルの保健所を有する都道府県は42であった。

・全国の新型コロナの定点当たりの患者報告数は1.44で前週の1.51から減少した。

・静岡県において第41週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)急性呼吸器感染症 (59.96)、2)インフルエンザ (10.40)、3)ヘルパンギーナ (4.59)、4)RSウイルス感染症 (2.74)、5)感染性胃腸炎 (1.83)、6)新型コロナ (1.41)であった。

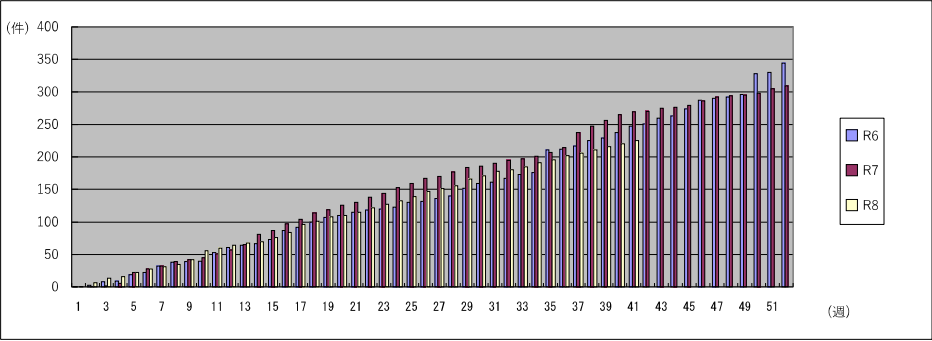
【インフルエンザ罹患数推移】



【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2026/2027シーズン)】 (令和8年第36週～)

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm08		系統	系統
R8年 第36週	静岡県				
	静岡市				
	浜松市				
R8年 第37週	静岡県	5			
	静岡市	3			
	浜松市	2			
R8年 第38週	静岡県	2			
	静岡市				
	浜松市	1			
R8年 第39週	静岡県				
	静岡市	1			
	浜松市				
R8年 第40週	静岡県	3			
	静岡市				
	浜松市				
R8年 第41週	静岡県				
	静岡市	1			
	浜松市	1			
合 計		19	0	0	0

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】
・第41週までの累計は225件で、前年同期比0.84倍であった。



急性呼吸器感染症（ARI）について

急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスは、症例定義に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

平時から、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、県民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が5類感染症となりました。

症例定義

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ異常の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

詳細データは下記URL先を参照してください

（感染症発生状況見える化ダッシュボード）

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/1065883/1073975.html>

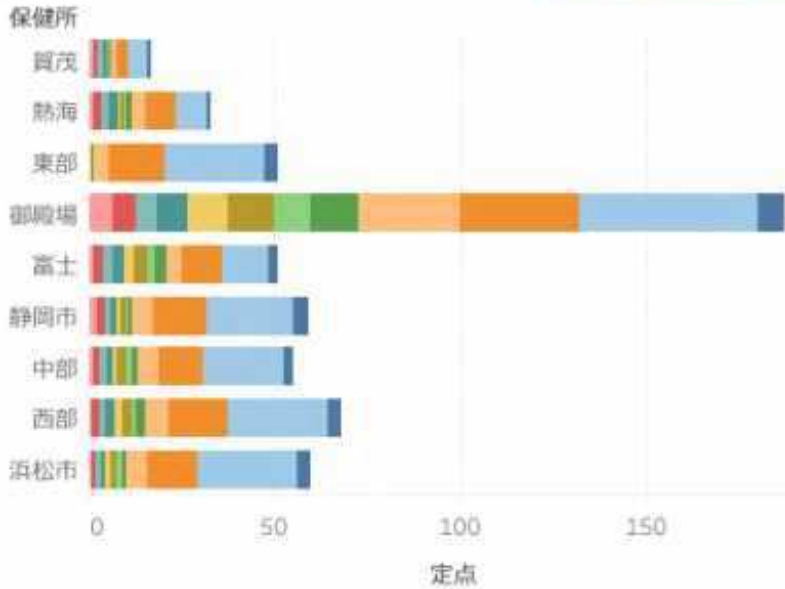


急性呼吸器感染症（ARI）の感染状況について

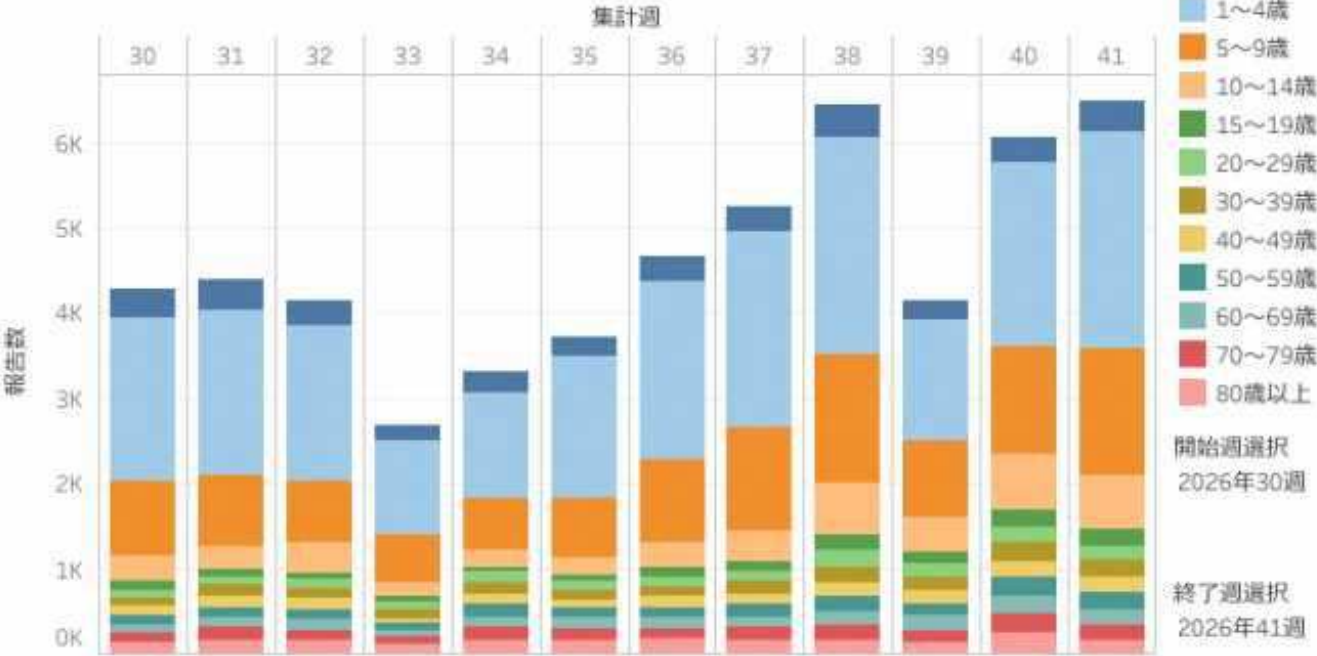
年週選択 2026年 第41週

保健所別感染状況

保健所	報告数	定点
賀茂	51	17.00
熱海	199	33.17
東部	815	50.94
御殿場	747	186.75
富士	459	51.00
静岡市	1,061	58.94
中部	658	54.83
西部	881	67.77
浜松市	1,605	59.44
保健所	報告数	定点
静岡県	6,476	59.96
全国	258,961	69.78



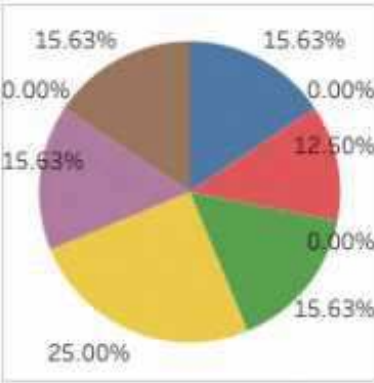
年齢構成別報告数（県全体）



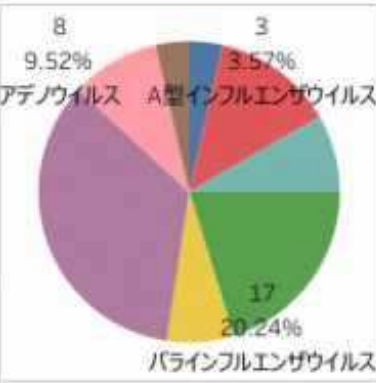
病原体定点から提出された検体の検査結果について

直近12週間の検体数

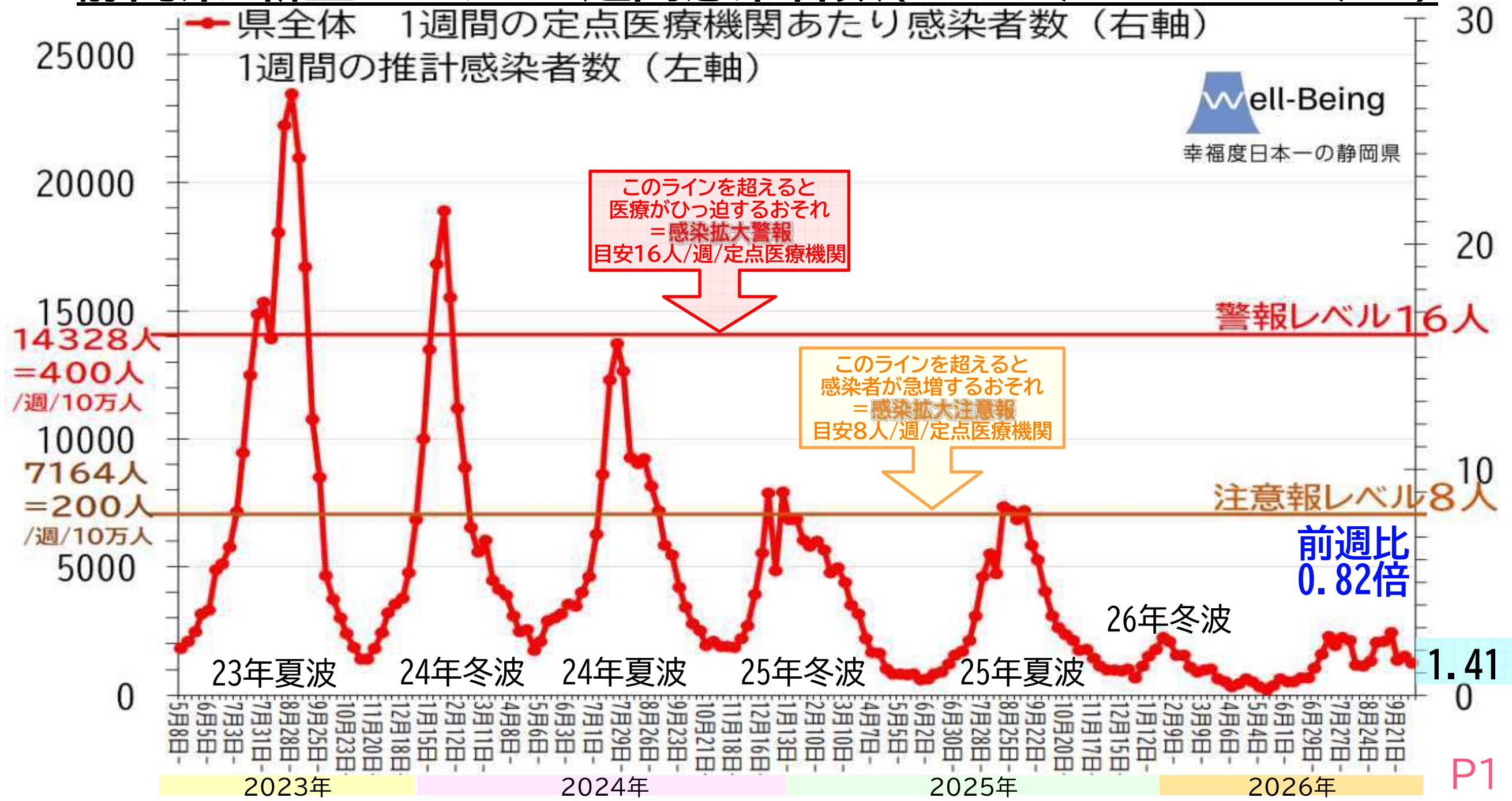
病原体20歳以上



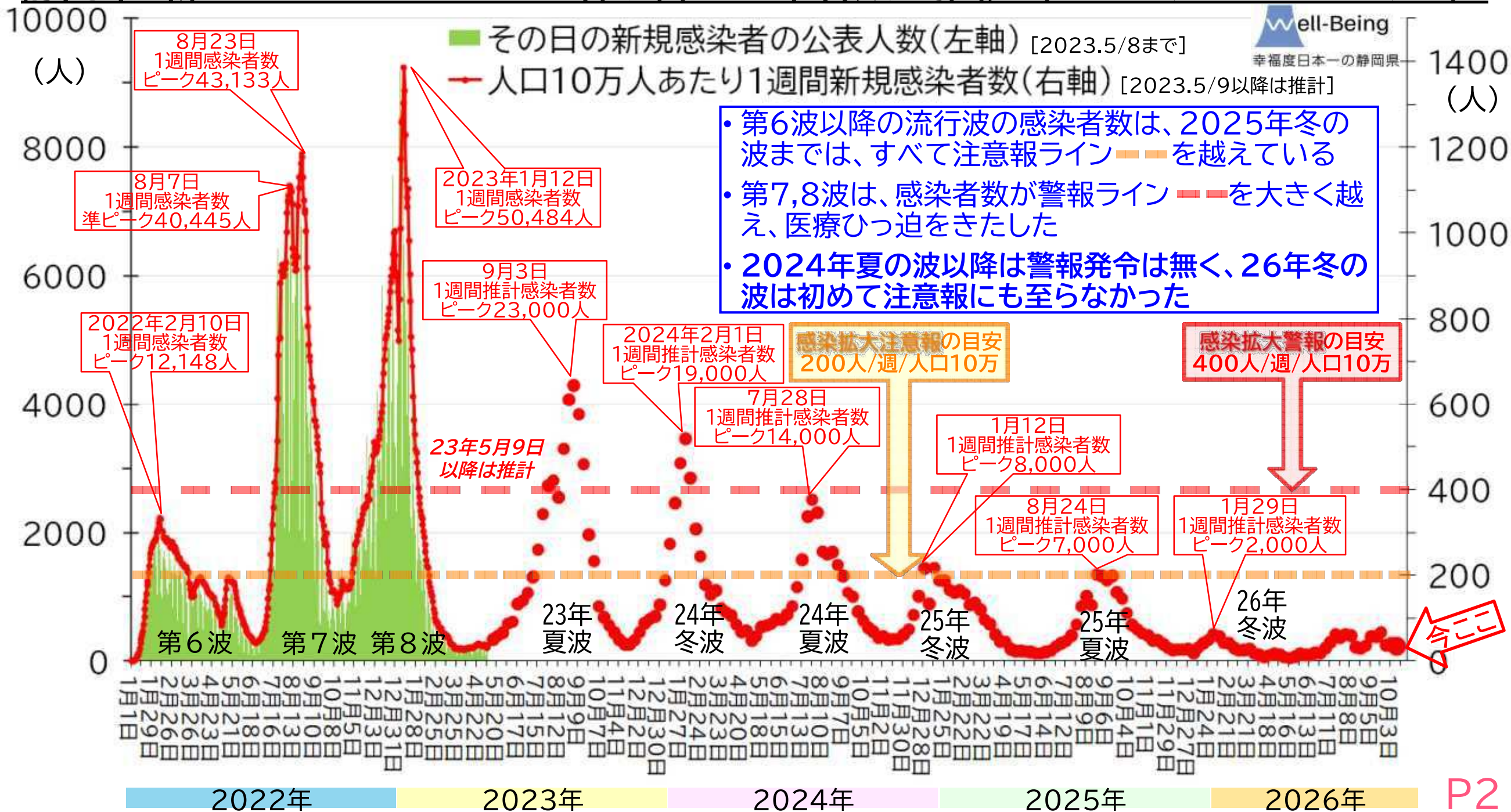
病原体20歳未満



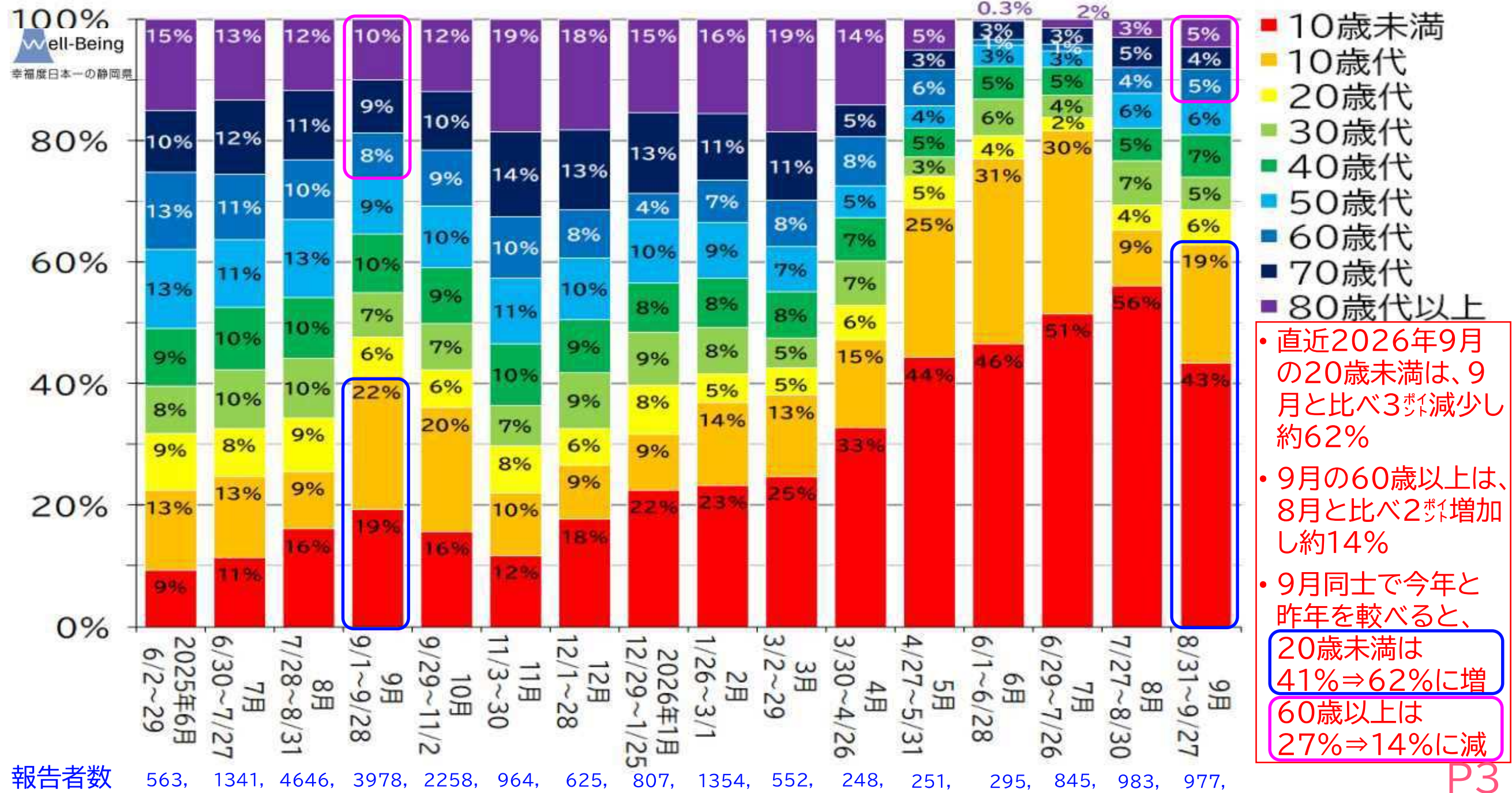
静岡県 新型コロナ 1週間感染者数(2023.5/8～2026.10/11)



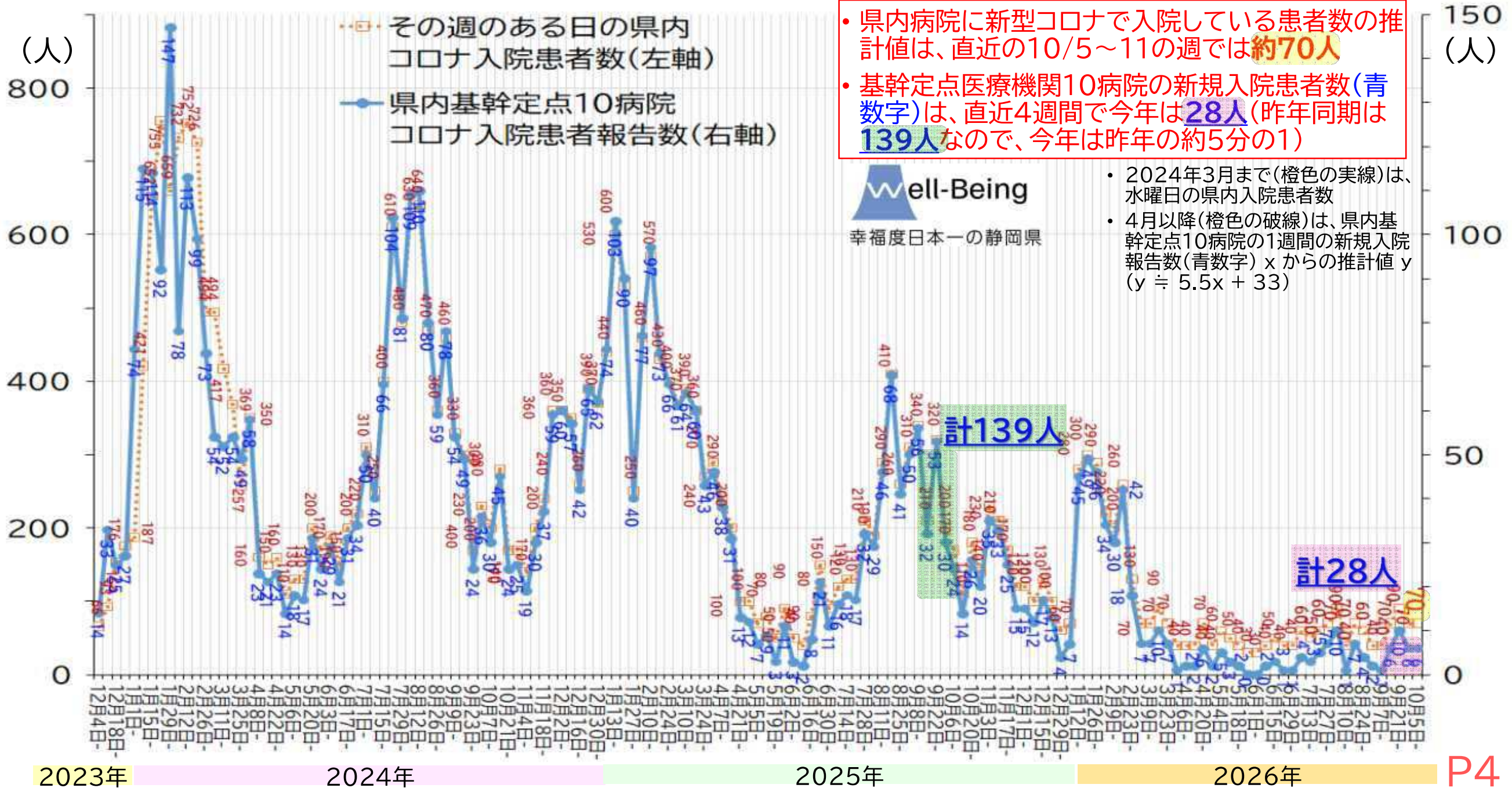
静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移 (2022.1/1~2026.10/11)



静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者の年代別割合推移(2025. 4/28～2026. 10/4)



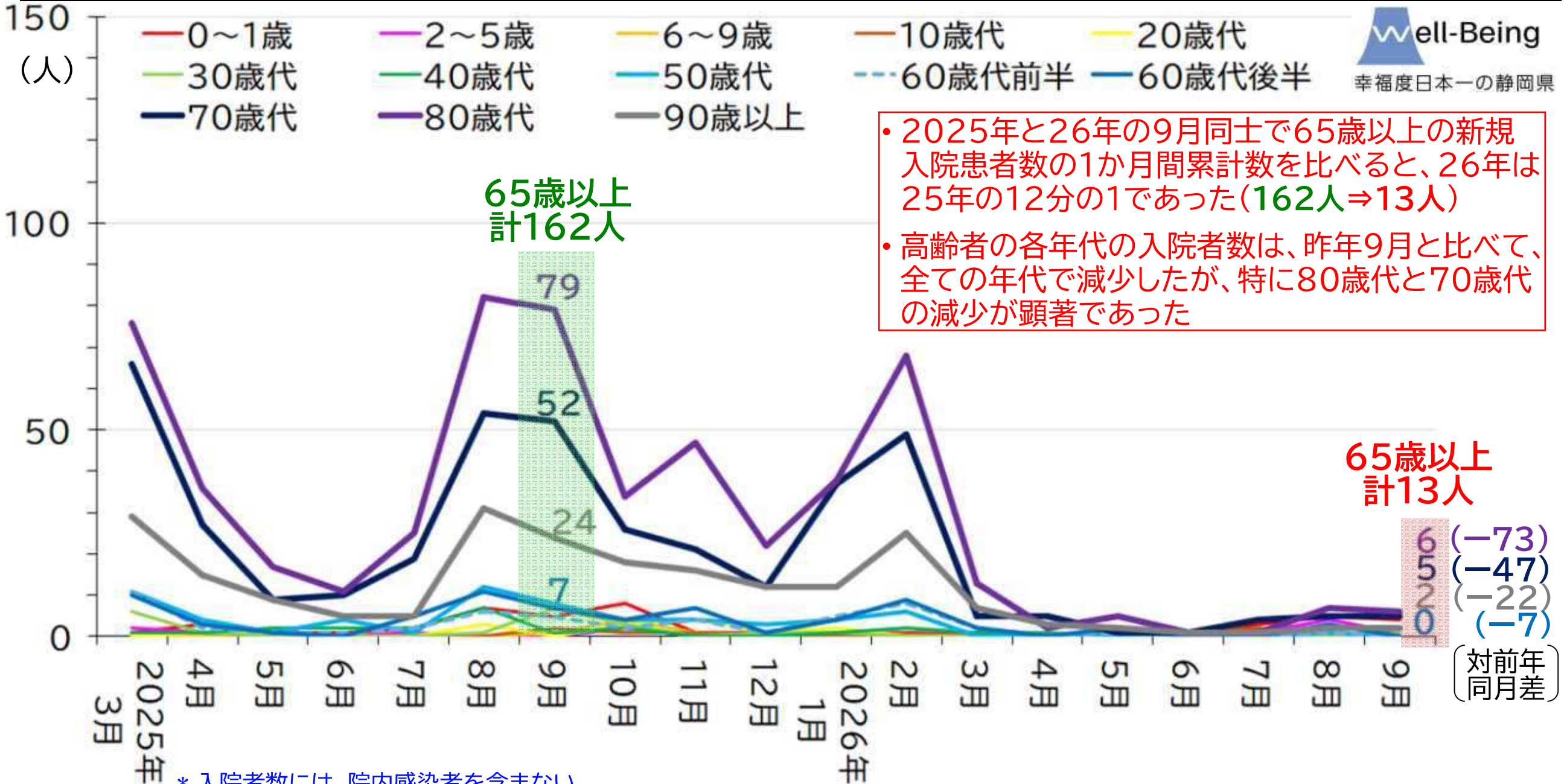
静岡県 新型コロナ入院患者数 おおまかな推計値 (2024. 4/1~2026. 10/7)



- 県内病院に新型コロナで入院している患者数の推計値は、直近の10/5~11の週では約70人
- 基幹定点医療機関10病院の新規入院患者数(青数字)は、直近4週間で今年は28人(去年同期は139人)なので、今年は去年の約5分の1)

- 2024年3月まで(橙色の実線)は、水曜日の県内入院患者数
- 4月以降(橙色の破線)は、県内基幹定点10病院の1週間の新規入院報告数(青数字) x からの推計値 y ($y \div 5.5x + 33$)

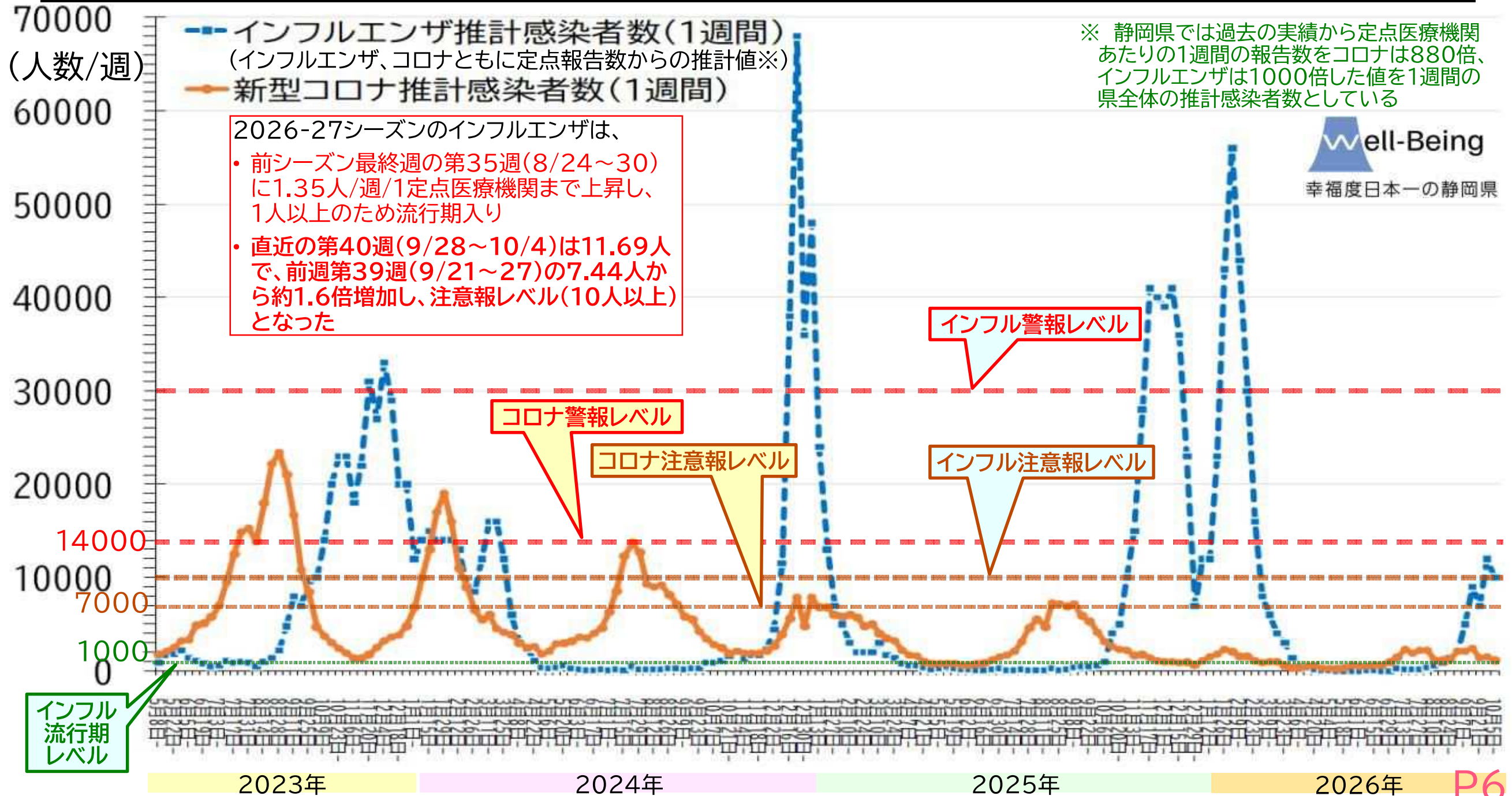
静岡県 基幹定点医療機関(10病院)のコロナ年代別新規入院患者数の推移(2025.3月～2026.9月)



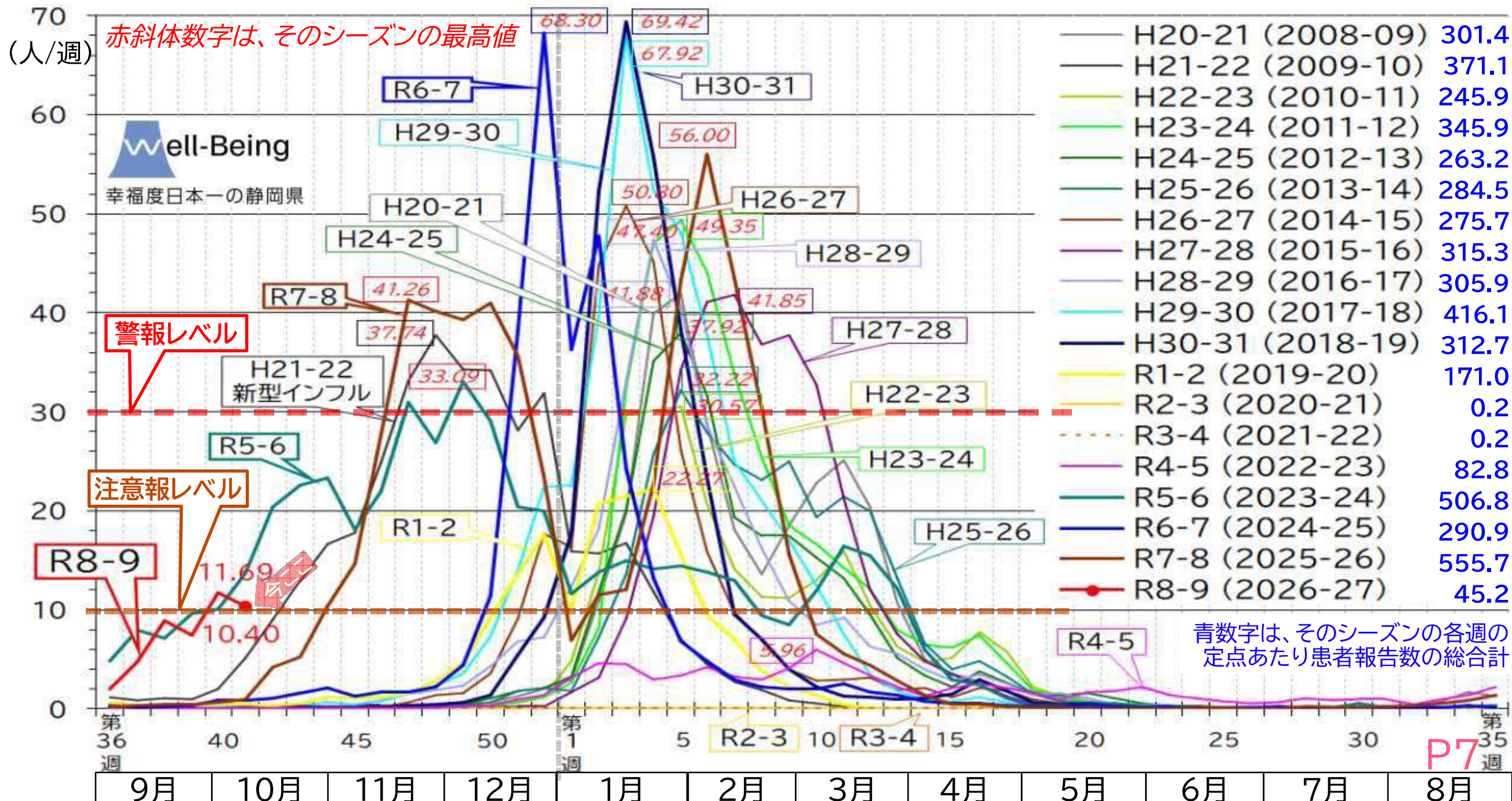
全年代の入院者数* 213, 95, 42, 34, 62, 214, 191, 111, 106, 54, 105, 170, 31, 11, 12, 6, 13, 29, 19, P5

* 入院者数には、院内感染者を含まない

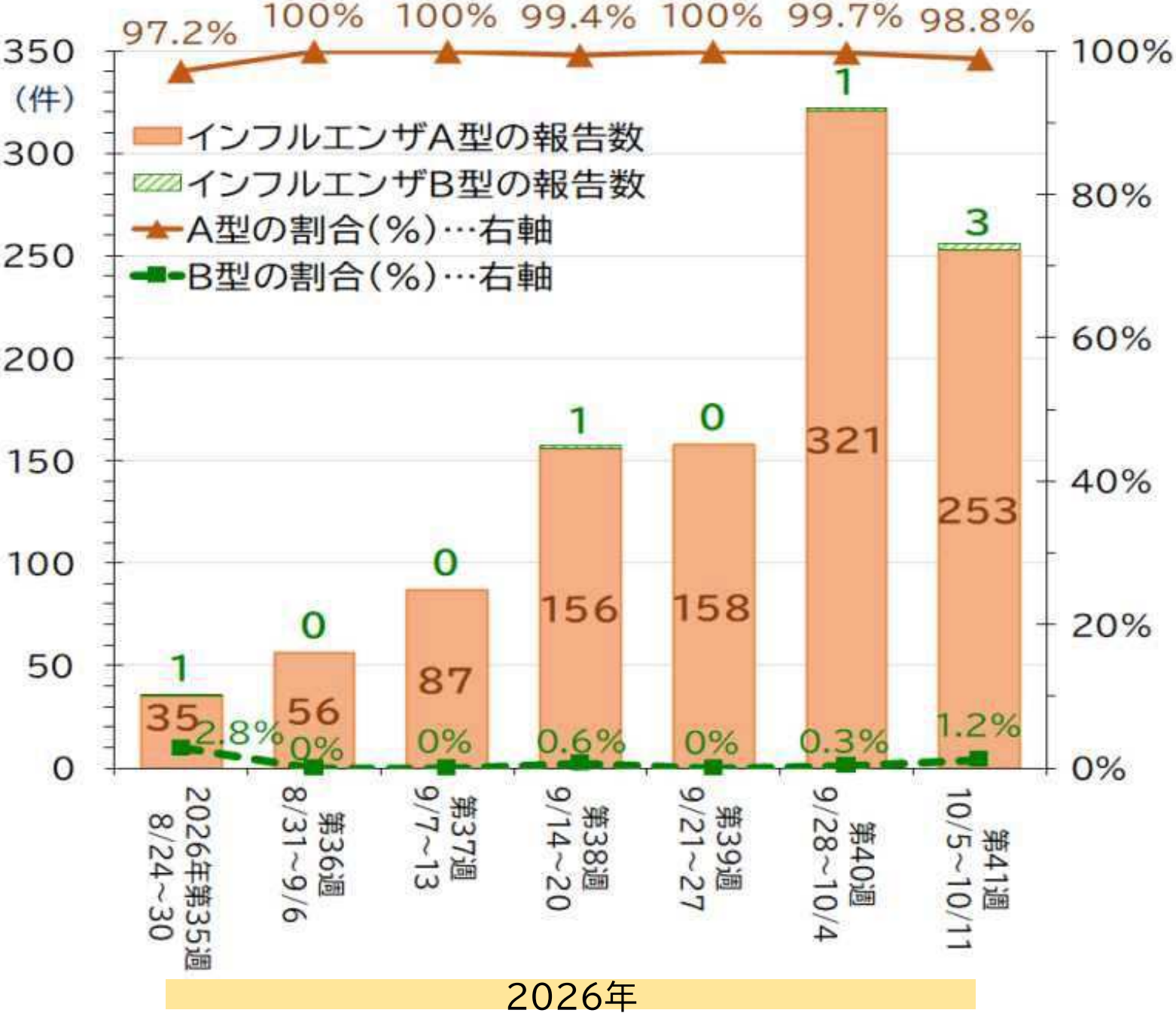
静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況（2023.5/8～2026.10/11）



静岡県 インフルエンザ 定点医療機関からの患者報告数 今季と過去18季の比較



静岡県 インフルエンザ 定点医療機関(一部)のA型とB型の状況(2026. 8/24～10/11)

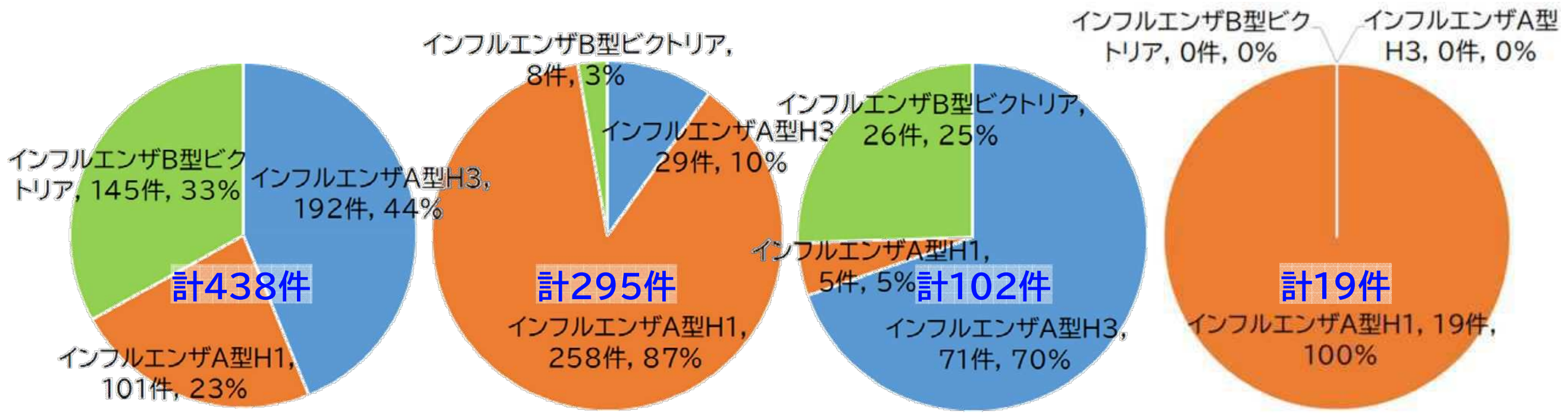


- 今シーズンのインフルエンザ流行期に、A型・B型別の報告数を教えていただいた一部(約20施設)の定点医療機関からの報告総数をA型・B型別に週ごとにまとめたもの
- ほとんどがA型



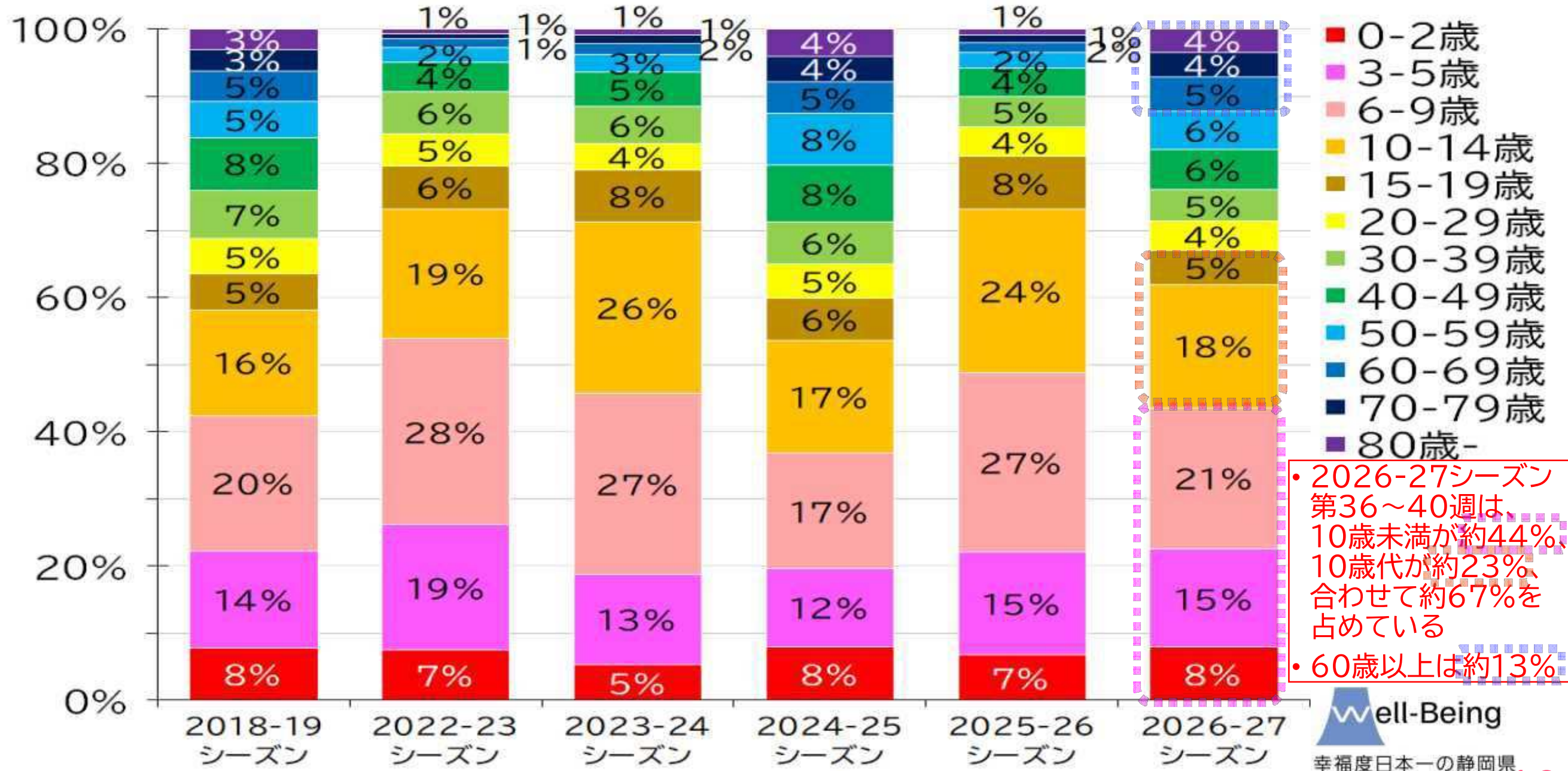
静岡県内衛生研究所(県, 静岡市, 浜松市) インフルエンザウイルス型別検出の状況(2023. 10/2～2026. 10/11)

<u>2023-24シーズン</u>	<u>2024-25シーズン</u>	<u>2025-26シーズン</u>	<u>2026-27シーズン</u>
2023年 第40～52週 + 2024年 第1～22週 (2023.10/2～2024.6/2)	2024年 第36～52週 + 2025年 第1～14週 (2024.9/2～2025.4/6)	2025年 第36～52週 + 2026年 第1～15週 (2025.9/1～2026.4/12)	2026年 第36～41週 (2026.8/31～10/11)



• 今シーズンの季節性インフルエンザは、昨シーズンに最も少なかったインフルエンザA型H1が主体で流行が始まっている

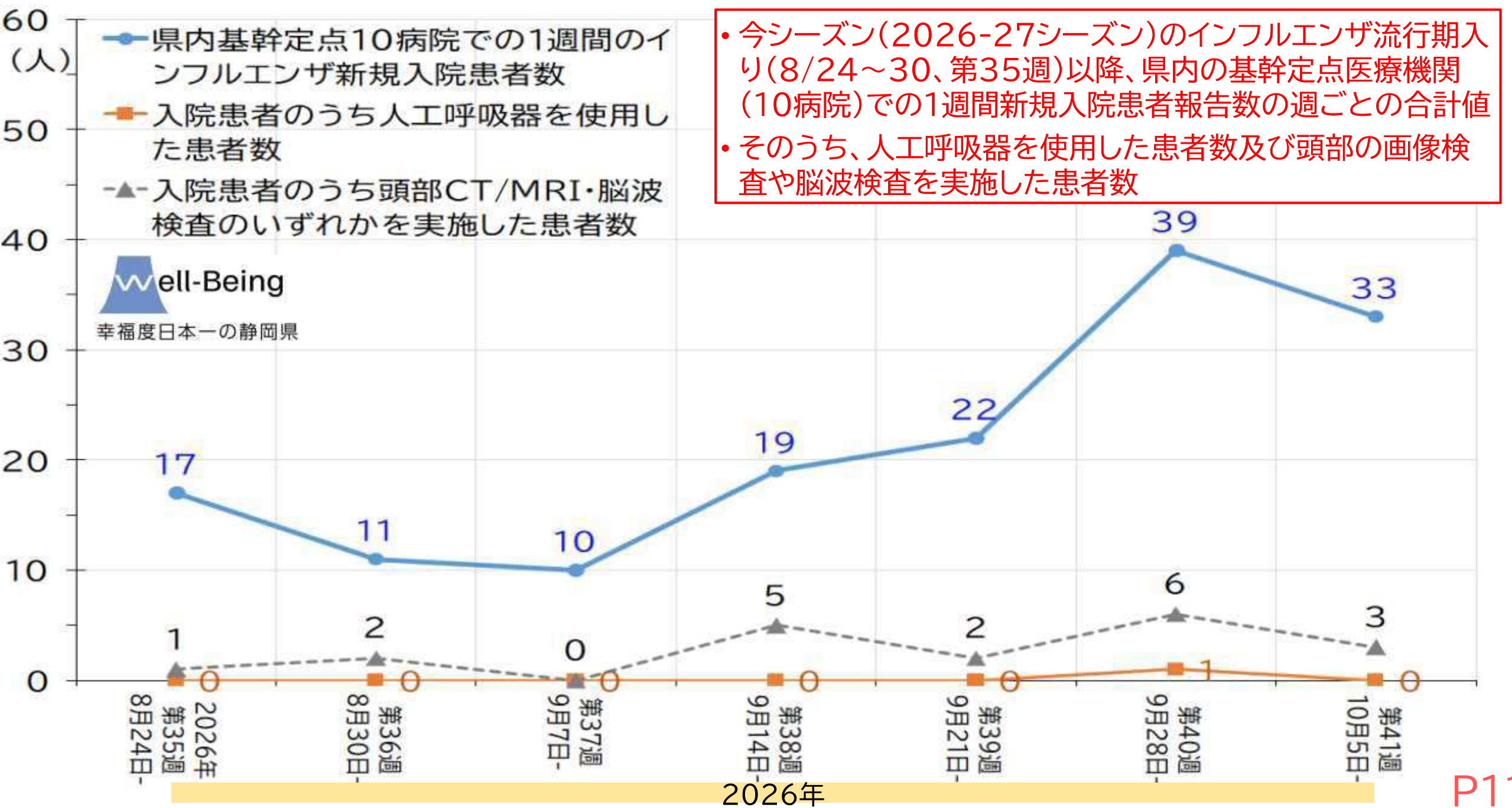
静岡県 インフルエンザ 近年6シーズンの報告患者の年齢分布



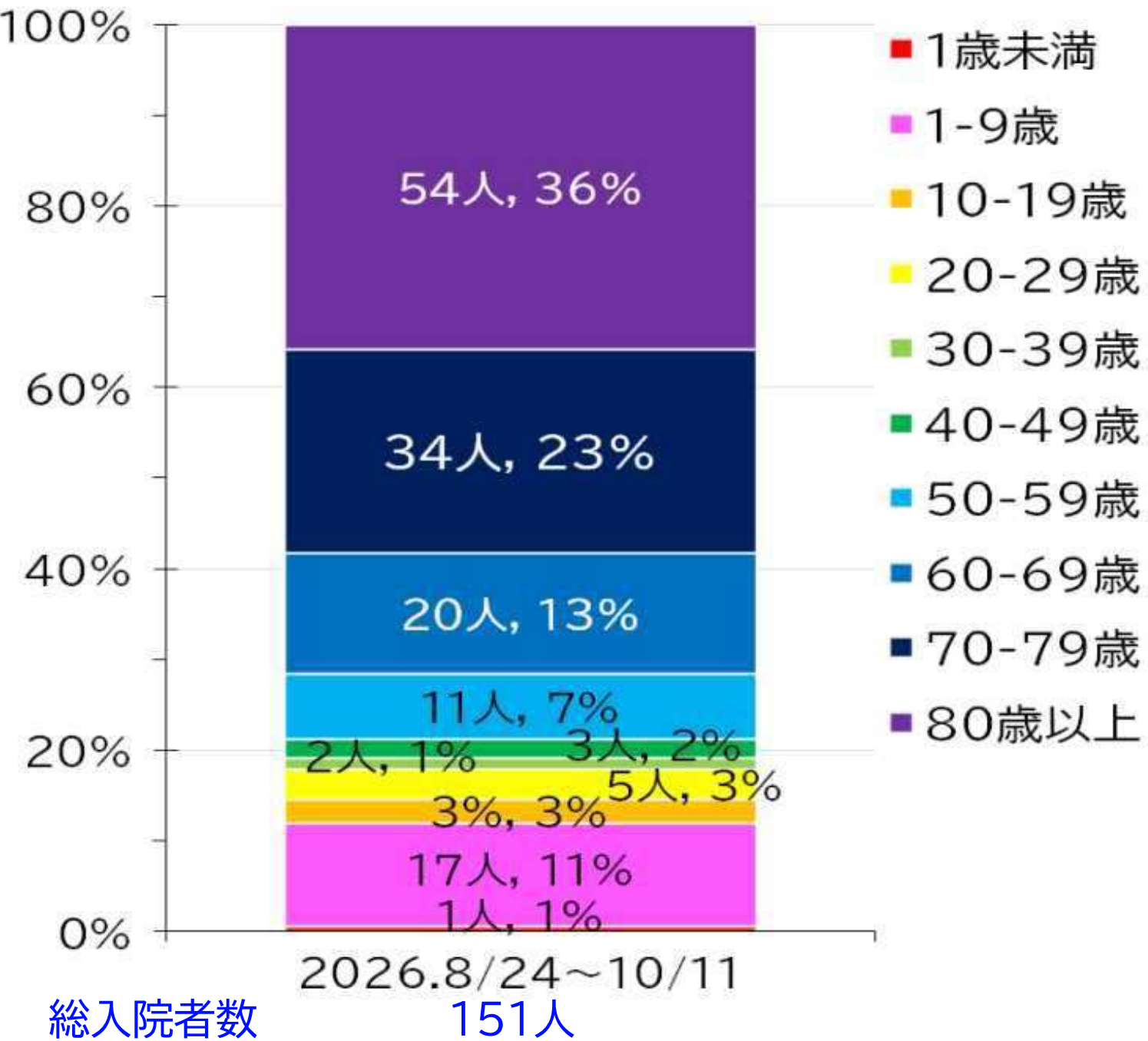
• 2026-27シーズン 第36～40週は、10歳未満が約44%、10歳代が約23%、合わせて約67%を占めている
 • 60歳以上は約13%



静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者数の推移（2026.8/24～10/11）



静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者年齢分布（2026.8/24～10/11）



- 今シーズン(2026-27シーズン)のインフルエンザ流行期入り以降(8/24～30、第35週)における、県内の基幹定点医療機関(10病院)での1週間新規入院患者を累計した集団の年齢分布
- 全体で累計151人
- 80歳以上が最多で36%、次いで70歳代が23%、60歳代が同率で13%



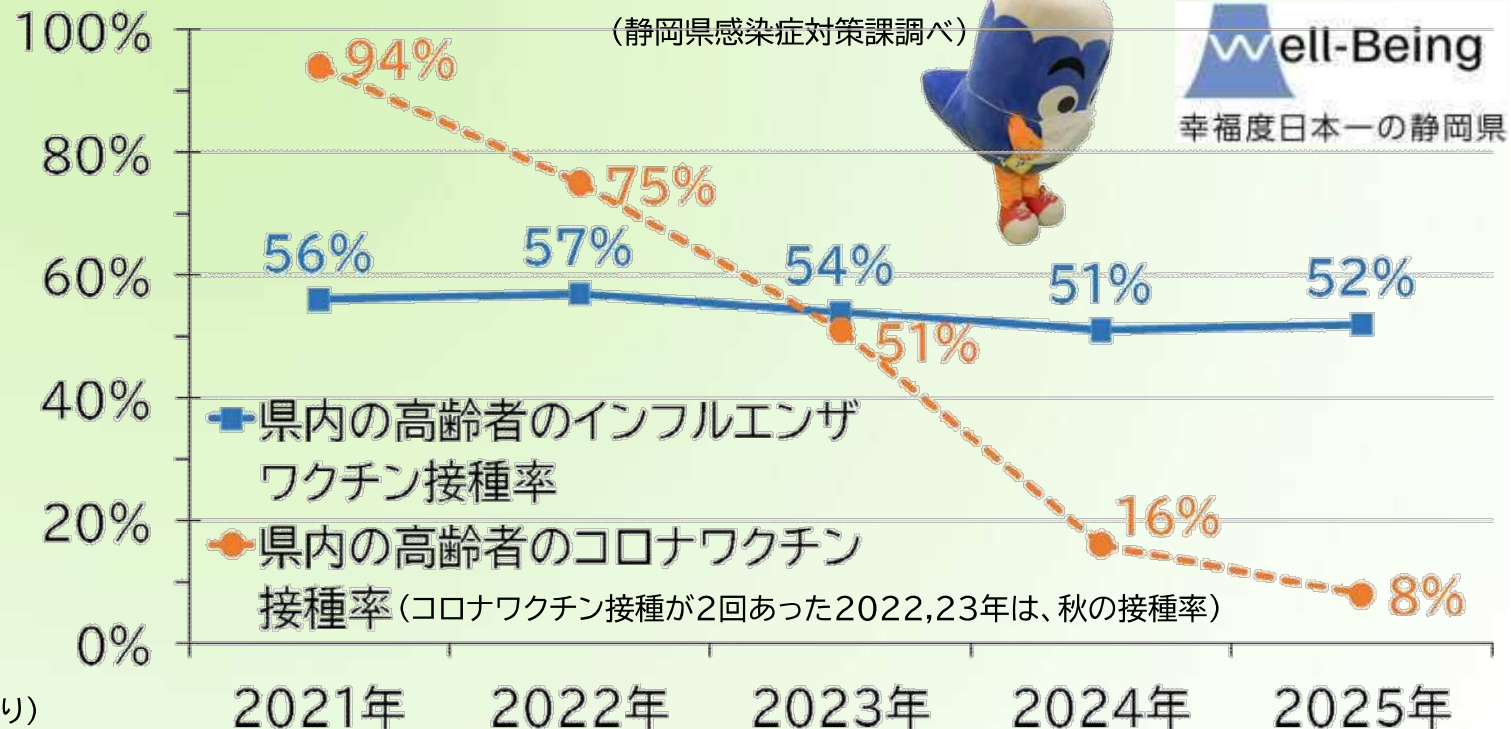
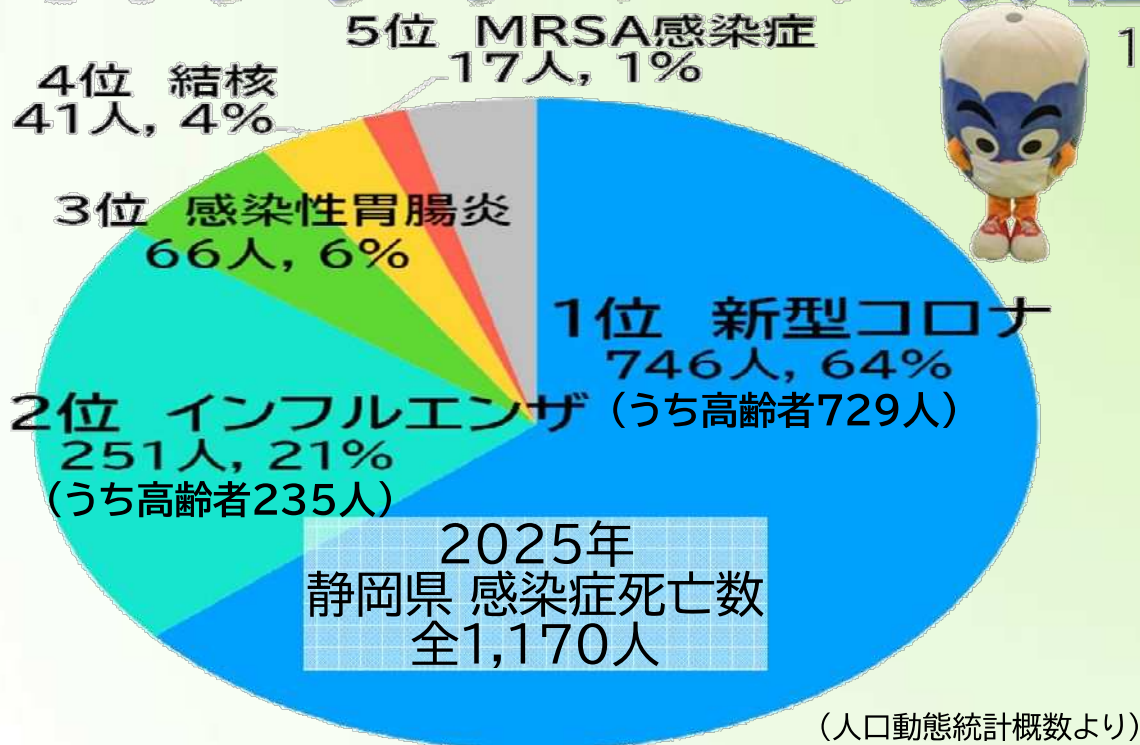
県内インフルエンザ**注意報発令**です



あらためて**4つのお願い**

1. **医療機関や高齢者施設**の受診や訪問時は、**できるだけマスク着用**を!
2. **体調に少しでも違和感（だるさ、寒気）がある時は、人と会うときにマスク着用**を!
3. **急に症状（熱・頭痛・のど痛）が出たときは、学校や仕事をすぐに休んで療養**を!
4. 人が集まる所では、**換気と咳エチケット**（咳くしゃみが出る時は**口鼻をおおう**）を!

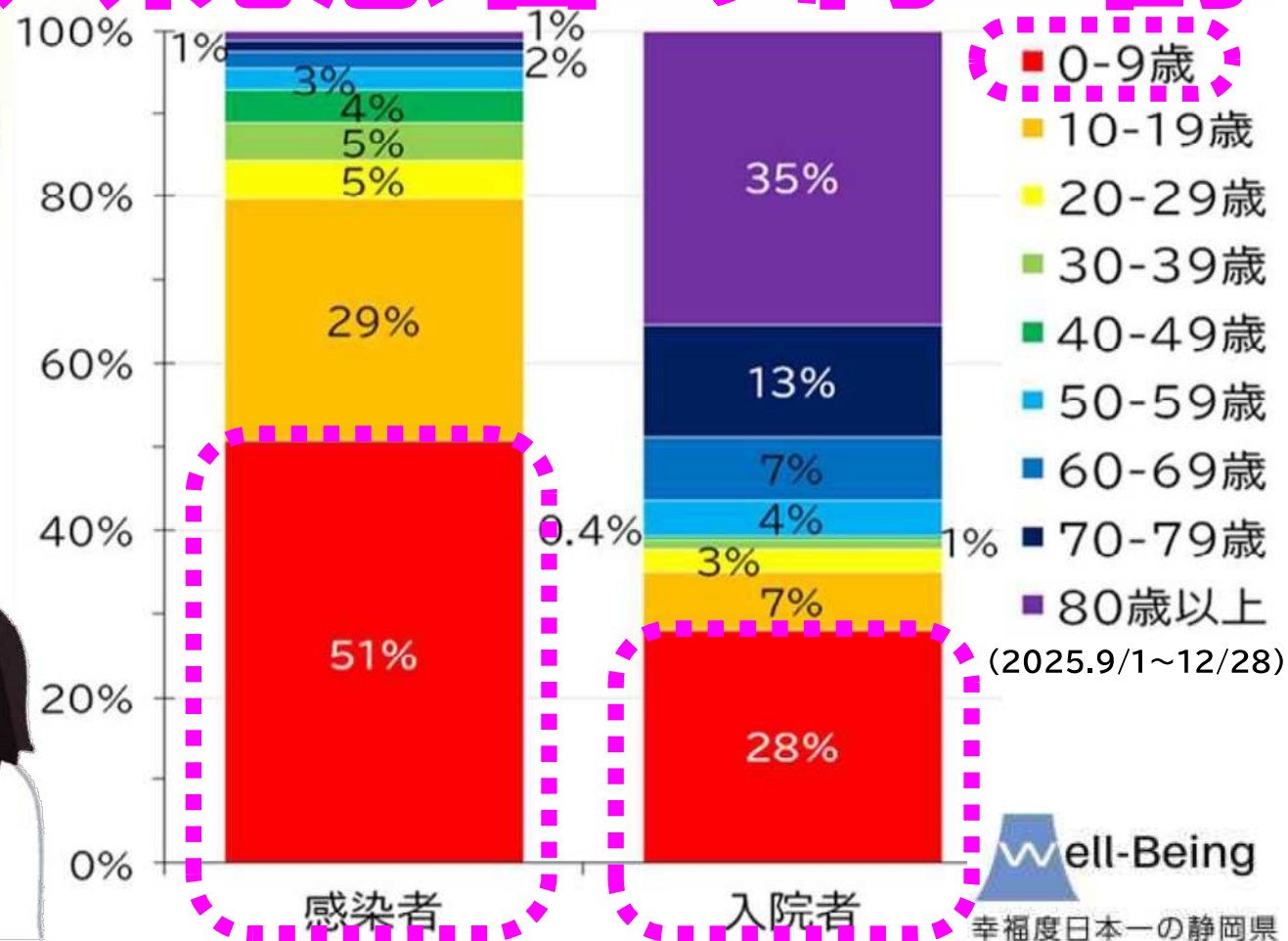
コロナ禍以降、コロナワクチンもインフルエンザ ワクチンも**高齢者の接種率が低下！** インフルエンザとコロナは、静岡県の昨年の 感染症による死亡者数**第1位と第2位**です。 **両ワクチンの接種をぜひご検討**ください。



昨シーズンのインフルエンザは
静岡県では10歳未満の子どもが
感染者の約5割、入院患者の約3割
を占めています！



生後6か月以上の
子どものインフル
エンザワクチン
の接種をぜひ
ご検討ください



急病センターや**当番医**を受診



しよつか迷ったら...



救急車を呼ぼうか迷ったら...

15歳以上は **#7 1 1 9**

15歳未満は **#8 0 0 0 0**



で電話相談を!



幸福度日本一の静岡県

麻疹(はしか)って、どんな感染症？

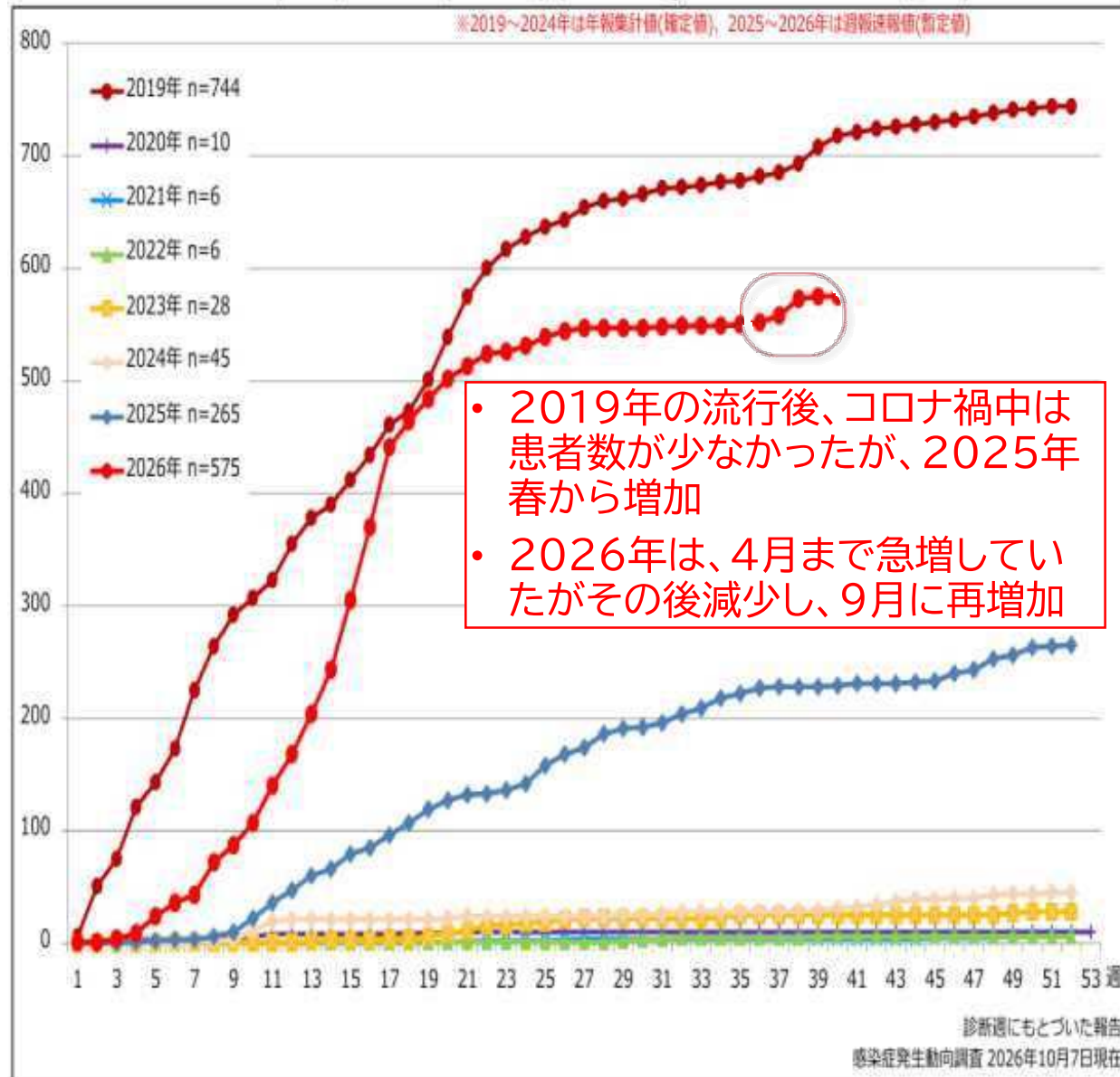
- **感染力最強ウイルス**で、感染者1人から未感染者約15人に感染し(コロナの5倍)、ほぼ全員が発症
- **空気感染**するので、同じ室内にいただけで感染
- **治療薬は無し**(抗麻疹ウイルス薬なし)
- **ワクチン2回接種**の人は感染しないか、感染しても軽症
- ワクチン未接種患者の**数100人に1人は死亡**
- 未接種者の症状は高熱・咳鼻水・目の充血⇒赤いヒョウ柄発疹が顔から全身へ、**消耗が激しく多くの患者が入院**
- 合併症は、**中耳炎(7%)、肺炎(6%)、脳炎(0.1%)**等

麻疹の詳細は、JIHS(国立健康危機管理研究機構)の感染症情報提供サイトへ
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/measles/010/measles.html>

麻疹 今年の国内発生状況①(国立健康危機管理研究機構のサイトより)

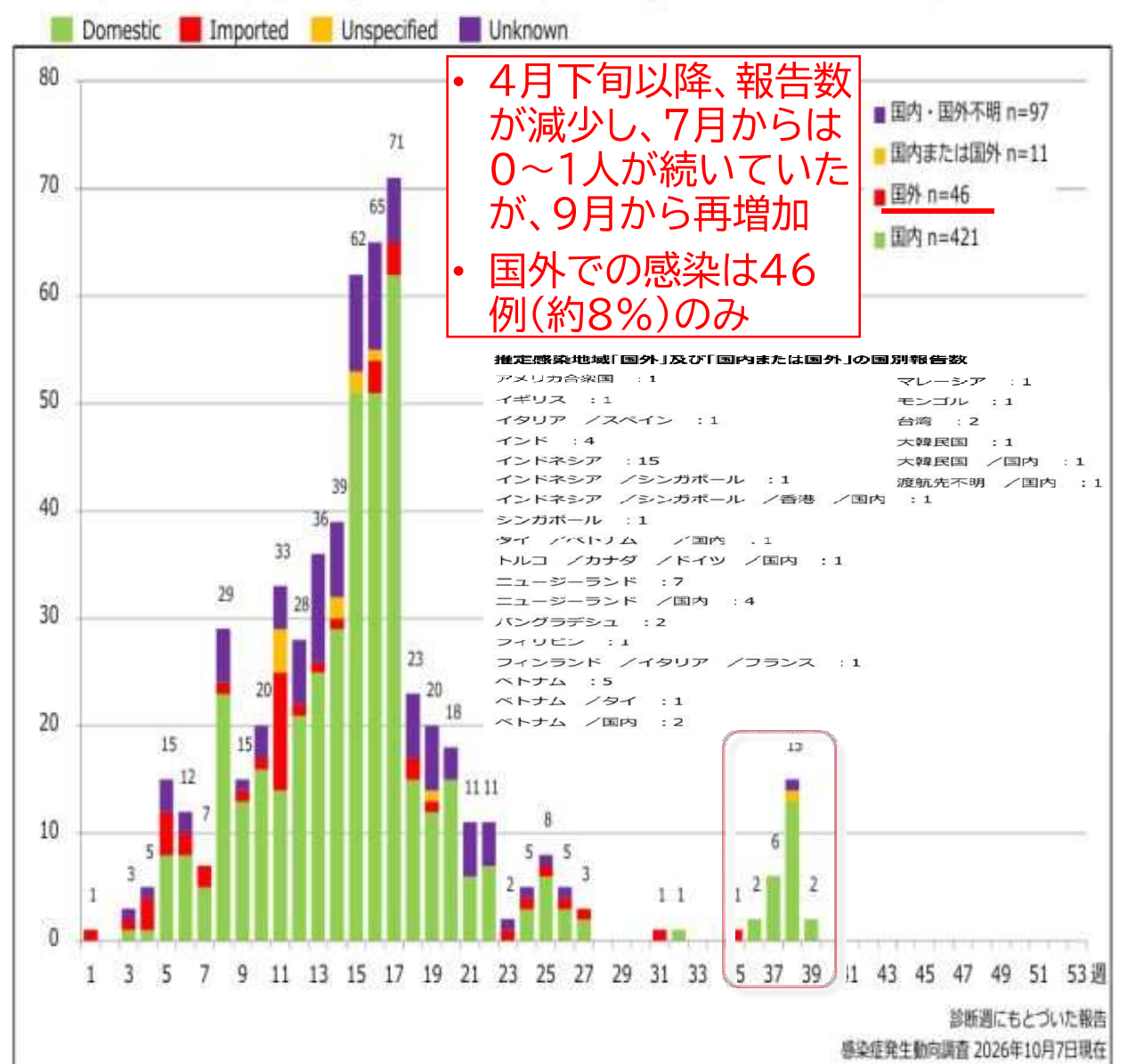
1. 麻疹累積報告数の推移 2019～2026年(第1～40週)(2026年は10月4日まで)

Cumulative measles cases by week, 2019-2026 (week 1-40) (based on diagnosed week as of October 7, 2026)



8. 週別推定感染地域(国内・外)別麻疹報告数 2026年 第1～40週 (n=575) (2025年12月29日～26年10月4日)

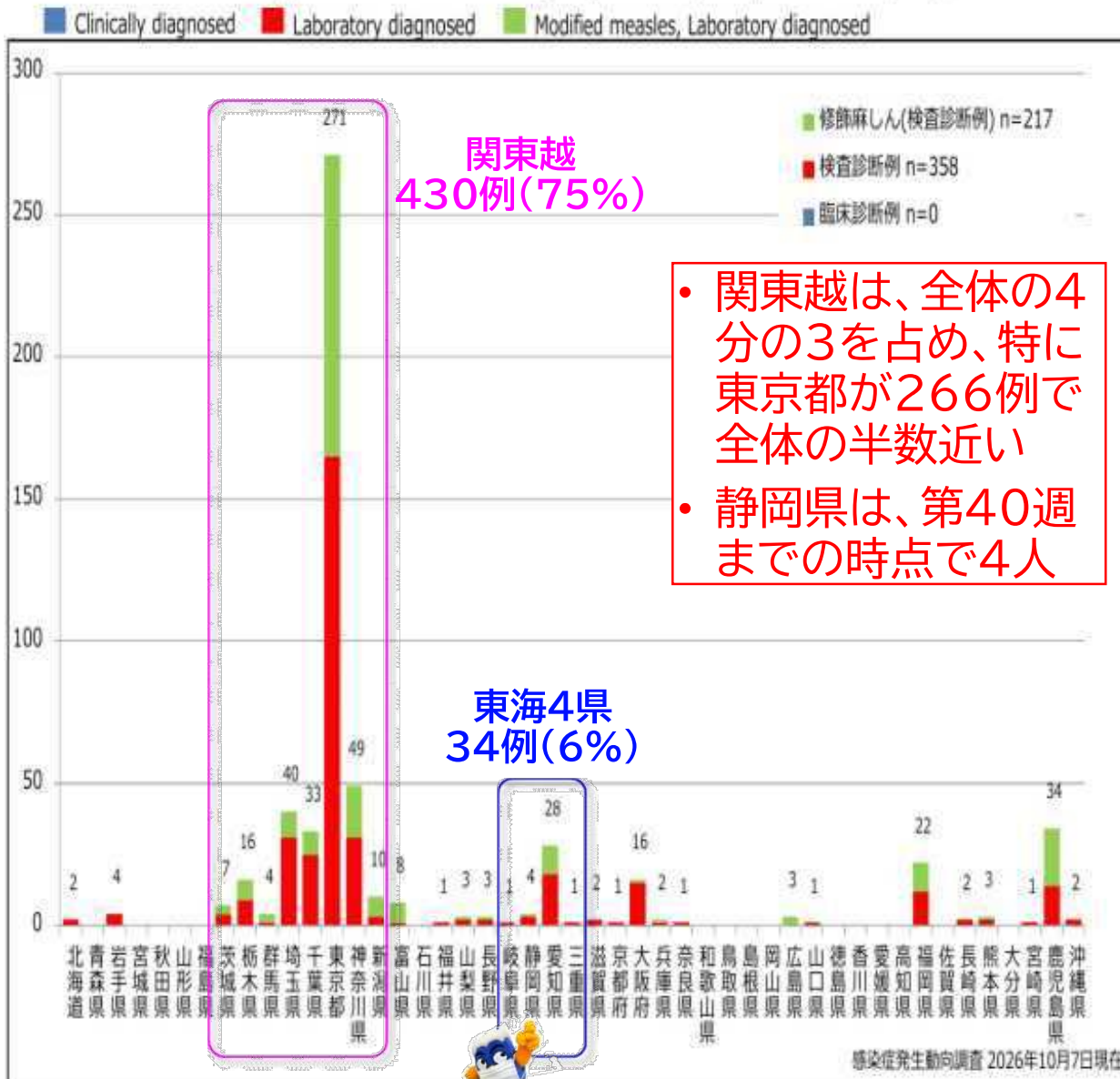
Weekly measles cases by acquired region, week 1-40, 2026 (based on diagnosed week as of October 7, 2026)



麻しん 今年の国内発生状況②(国立健康危機管理研究機構のサイトより)

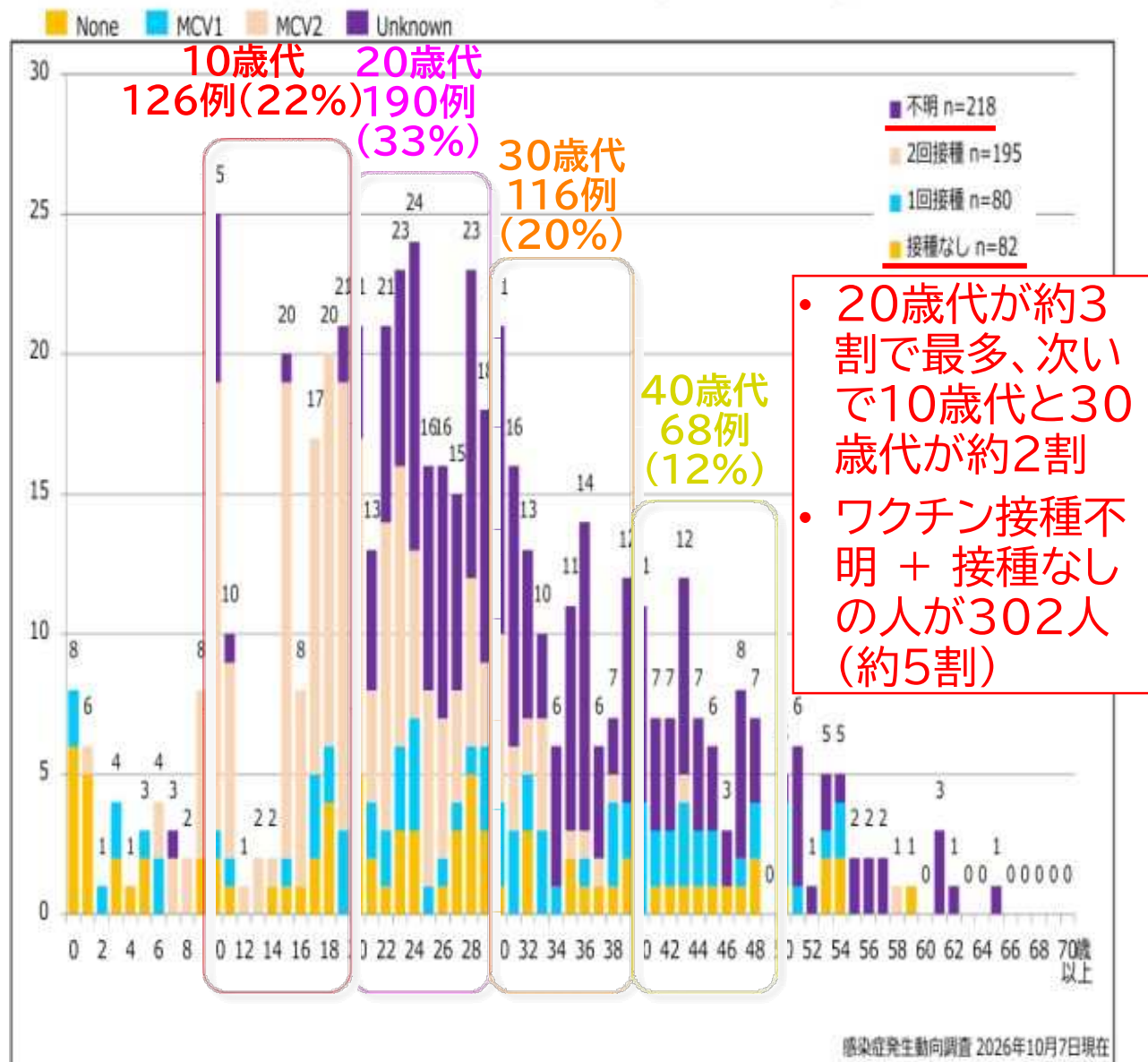
4. 都道府県別病型別麻しん累積報告数 2026年 第1~40週 (n=575) (2025年12月29日~26年10月4日)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-40, 2026 (as of October 7, 2026)



6. 年齢群別接種歴別麻しん累積報告数 2026年第1~40週 (n=575) (2025年12月29日~26年10月4日)

Cumulative measles cases by age and vaccinated status, week 1-40, 2026 (as of October 7, 2026)



麻疹に関して県感染症管理センターからのお願い

- 1歳の誕生日がきたら、麻疹風疹混合(MR)ワクチンをすぐにうつ！
- 5歳(年長さんの学年)でのMRワクチン2期の接種率が下がっており、忘れずにうつ！
- 麻疹未感染の50歳代半ば以下の方は、母子手帳で自分の麻疹ワクチン接種回数を確認し、0回と1回の方は接種(自費)の検討を！

感染症発生動向調査における特記事項欄コメント

第 41 週 令和8年10月5日 ～ 令和8年10月11日

今週の特記事項欄コメントの報告数上位

1	インフルエンザA型	253名	(インフルエンザB型 3名)
2	RSウイルス感染症	47名	
3	マイコプラズマ肺炎	16名	

保健所	医療機関名	感染症名	報告数	備考
熱海	高野医院	新型コロナウイルス感染症	2	
熱海	高野医院	インフルエンザA型	7	
熱海	高野医院	急性呼吸器感染症	63	
熱海	むらかみ小児科クリニック	マイコプラズマ肺炎	4	7歳男児、8歳男児、9歳男児、10歳男児
熱海	むらかみ小児科クリニック	ヒトメタニューモ	1	5歳男児
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	RSウイルス感染症	29	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	インフルエンザA型	28	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	マイコプラズマ肺炎	5	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	腸管アデノ	1	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会 富士病院	インフルエンザA型	29	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	RSウイルス感染症	18	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザA型	61	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザB型	3	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	新型コロナウイルス感染症	5	
御殿場	なかがわ医院	インフルエンザA型	11	
静岡市	こどもクリニックみなと	マイコプラズマ肺炎	1	6歳男
静岡市	かどたこどもクリニック	マイコプラズマ肺炎	6	1歳男2名、3歳男1名、6歳男1名、6歳女1名、10～14歳男1名
浜松市	クリニック・パパ	ヒトメタニューモ	1	3才男
浜松市	クリニック・パパ	咽頭アデノ	1	1才男
浜松市	げんきこどもクリニック	インフルエンザA型	10	6か月未満男1・6～12か月男1・3才男1・4才男1・5才女1・7才男・10～14才男2・30代男1・51
浜松市	いぬかい小児科	インフルエンザA型	12	1才女・5才男・7才男・8才男2・9才男1・10～14才男1・15～19才男1・20代女・40代男
浜松市	幸田子供クリニック	インフルエンザA型	10	2才男・8才男2女1・10～14才男3女3
浜松市	おおば小児科	インフルエンザA型	23	2才男1・3才女1・5才女2・7才男1・8才男3女1・9才男1・10～14才男5女5・15～19才女1・60代女1
浜松市	天竜こども医院	インフルエンザA型	31	1才男2・2才男2・3才男1・5才男1・6才男2女3・7才男2女2・8才男2女2・9才女1・10～14才男6女5
浜松市	やわたの森こどもクリニック	ヒトメタニューモ	3	
浜松市	縣医院	インフルエンザA型	6	10～14才男1女2・20代女1・50代女1・60代女1
浜松市	くまがいクリニック	インフルエンザA型	6	15～20才男1・20代男1・30代男1・40代女3・
浜松市	大竹内科医院	インフルエンザA型	19	3才女1・5才男1・9才男1女1・10～14才男2・20代男1女3・30代女2・40代男2女1・50代男2女1・70代男

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

(「静岡県 感染症週報」で検索)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>



第 41 週

疾患名	区分	静岡県							全国				
		第 36週	第 37週	第 38週	第 39週	第 40週	今週	年累計	第 38週	第 39週	第 40週	今週	年累計
エボラ出血熱	1 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クリミア・コンゴ出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
痘そう		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南米出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペスト		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マールブルグ病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラッサ熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性灰白髄炎	2 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結核		10	8	4	5	12	5	283	261	150	261	235	11843
ジフテリア		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症急性呼吸器症候群 (SARS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中東呼吸器症候群 (MERS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ (H5N1)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ (H7N9)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コレラ	3 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
細菌性赤痢		0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	3	58
腸管出血性大腸菌感染症		0	3	4	1	4	2	63	147	61	122	73	3540
腸チフス		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	31
パラチフス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
E型肝炎		0	0	0	0	0	0	6	6	7	7	4	501
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎含む)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A型肝炎	4 類	0	0	0	0	0	0	5	15	6	11	5	332
エキノコックス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
エムボックス		0	0	0	0	0	1	1	2	1	5	6	143
黄熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オウム病		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
オムスク出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回帰熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
キヤサスル森林病	5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
狂犬病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コクシジオイデス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
ジカウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)		0	0	0	0	0	0	8	3	4	2	4	185
腎臓慢性出血熱 (HFRS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部ウマ脳炎	5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダニ媒介脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
炭疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
テクングニア熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
つつが虫病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	68
デング熱		0	0	1	0	0	0	2	9	4	8	6	122
東部ウマ脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ (H5N1 及び H7N9 を除く)	5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニパウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本紅斑熱		1	1	2	0	0	0	13	30	20	27	30	499
日本脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5
ハンタウイルス肺症候群 (HPS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Bウイルス病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブルセラ症	5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ペネズエラウマ脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘンドラウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知しんチフス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア		0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	39
野痘病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病	5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
リッサウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リフトバレー熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難鼻疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
レジオネラ症		3	1	2	4	2	3	75	86	82	66	88	2180
レプトスピラ症		0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	2	23
ロッキー山紅斑熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメーバ赤痢	5 類	2	0	0	0	0	0	16	9	4	6	11	394
ウイルス性肝炎		0	0	0	0	0	0	1	2	2	5	2	184
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		0	0	0	1	0	0	15	21	9	10	12	777
急性弛緩性麻痺		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	20
急性脳炎		0	0	1	0	1	2	12	8	10	15	14	420
クリプトスポリジウム症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8
クロイツフェルト・ヤコブ病		0	1	0	0	0	0	6	2	3	0	8	132
創症型溶血性レンサ球菌感染症	5 類	3	1	1	1	0	0	33	17	14	18	12	988
後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)		0	0	0	0	0	0	14	15	6	8	17	738
ジアルジア症		0	0	0	0	0	0	0	2	1	4	1	42
慢性的インフルエンザ菌感染症		0	0	0	0	0	0	6	6	2	10	6	443
慢性的髄膜炎菌感染症		0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	46
慢性的肺炎球菌感染症		0	0	2	0	0	1	46	16	21	22	22	2087
水痘 (入院例)		0	0	0	0	0	0	16	8	11	7	8	864
先天性風しん症候群	5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0	0	0	1	6	3	7	2	192
梅毒		6	4	4	4	5	5	225	146	53	148	142	8942
播種性クリプトコックス症		0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	2	134
破傷風		0	0	0	0	0	0	1	2	0	4	2	92
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	56
百日咳	5 類	0	3	0	2	2	2	92	91	51	83	72	4686
風しん		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
麻疹		0	0	0	0	0	0	4	15	2	0	3	579
薬剤耐性アシネトバクター感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
新型コロナウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。 (「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。)
※令和8年4月6日から薬剤耐性緑膿菌感染症は多剤耐性緑膿菌に名称変更し、全数把握感染症に変更になりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2026 第 41 週

		静岡県							全国				
		第36週	第37週	第38週	第39週	第40週	今週	計	第38週	第39週	第40週	今週	計
小児科	RSウイルス感染症	79	102	117	78	115	181	672	2,787	1,882	2,327	3,192	10,188
	咽頭結膜熱	12	5	12	1	6	7	43	570	329	484	399	1,782
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	81	64	58	32	87	53	375	3,320	1,625	2,907	3,194	11,046
	感染性胃腸炎	157	144	125	88	132	121	767	8,300	4,990	7,373	7,254	27,917
	水痘	5	8	4	3	7	4	31	496	350	467	350	1,663
	手足口病	39	36	52	12	38	27	204	3,039	1,685	1,834	2,068	8,626
	伝染性紅斑	2	2	1	2	0	0	7	78	53	40	77	248
	突発性発しん	25	8	13	8	15	16	85	662	428	599	597	2,286
	ヘルパンギーナ	48	69	206	97	229	303	952	2,923	1,330	2,465	2,933	9,651
	流行性耳下腺炎	2	8	2	2	8	1	23	96	63	107	85	351
小・内	インフルエンザ	223	508	965	804	1263	1123	4886	31,428	26,678	42,320	47,746	148,172
	新型コロナウイルス感染症	253	256	298	170	187	152	1316	9,826	4,671	5,635	5,362	25,494
眼科	急性出血性結膜炎	1	0	0	0	0	0	1	4	1	4	5	14
	流行性角結膜炎	4	2	6	2	5	6	25	421	350	451	437	1,659
基幹	細菌性髄膜炎	0	0	0	1	0	0	1	10	8	7	7	32
	無菌性髄膜炎	1	0	0	0	1	1	3	22	24	25	31	102
	マイコプラズマ肺炎	5	4	4	5	10	11	39	263	247	305	315	1,130
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	6	5	6	4	21
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	-	4

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	66	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	42	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2026 第 41 週

		静岡県						全国			
		第36週	第37週	第38週	第39週	第40週	今週	第38週	第39週	第40週	今週
小児科	RSウイルス感染症	1.20	1.55	1.77	1.18	1.74	2.74	1.24	0.84	1.03	1.42
	咽頭結膜熱	0.18	0.08	0.18	0.02	0.09	0.11	0.25	0.15	0.22	0.18
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.23	0.97	0.88	0.48	1.32	0.80	1.48	0.72	1.29	1.42
	感染性胃腸炎	2.38	2.18	1.89	1.33	2.00	1.83	3.70	2.22	3.28	3.22
	水痘	0.08	0.12	0.06	0.05	0.11	0.06	0.22	0.16	0.21	0.16
	手足口病	0.59	0.55	0.79	0.18	0.58	0.41	1.36	0.75	0.81	0.92
	伝染性紅斑	0.03	0.03	0.02	0.03	0.00	0.00	0.03	0.02	0.02	0.03
	突発性発しん	0.38	0.12	0.20	0.12	0.23	0.24	0.30	0.19	0.27	0.27
	ヘルパンギーナ	0.73	1.05	3.12	1.47	3.47	4.59	1.30	0.59	1.10	1.30
	流行性耳下腺炎	0.03	0.12	0.03	0.03	0.12	0.02	0.04	0.03	0.05	0.04
小・内	インフルエンザ	2.06	4.70	8.94	7.44	11.69	10.40	8.48	7.17	11.35	12.81
	新型コロナウイルス感染症	2.34	2.37	2.76	1.57	1.73	1.41	2.65	1.25	1.51	1.44
眼科	急性出血性結膜炎	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01
	流行性角結膜炎	0.18	0.09	0.27	0.09	0.23	0.27	0.63	0.51	0.65	0.63
基幹	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.02	0.02	0.01	0.01
	無菌性髄膜炎	0.10	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	0.05	0.05	0.05	0.06
	マイコプラズマ肺炎	0.50	0.40	0.40	0.50	1.00	1.10	0.55	0.52	0.64	0.66
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	66	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	42	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※定点当り患者数とは1週間の1医療機関当りの平均患者数です。(報告数÷定点医療機関数=定点当り患者数)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

定点把握感染症保健所別集計表

第 41 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	181	2.74	7	0.11	53	0.80	121	1.83	4	0.06
賀茂	0	0.00	0	0.00	2	1.00	0	0.00	0	0.00
熱海	0	0.00	0	0.00	2	0.50	10	2.50	0	0.00
東部	49	5.44	0	0.00	4	0.44	0	0.00	0	0.00
御殿場	21	10.50	0	0.00	2	1.00	2	1.00	0	0.00
富士	3	0.60	0	0.00	0	0.00	2	0.40	2	0.40
静岡市	18	1.64	1	0.09	11	1.00	20	1.82	0	0.00
中部	9	1.13	4	0.50	8	1.00	14	1.75	0	0.00
西部	25	3.13	0	0.00	2	0.25	18	2.25	0	0.00
浜松市	56	3.29	2	0.12	22	1.29	55	3.24	2	0.12

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	27	0.41	0	0.00	16	0.24	303	4.59	1	0.02
賀茂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	6	3.00	0	0.00
熱海	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	0.50	0	0.00
東部	2	0.22	0	0.00	3	0.33	18	2.00	0	0.00
御殿場	3	1.50	0	0.00	1	0.50	3	1.50	1	0.50
富士	3	0.60	0	0.00	2	0.40	52	10.40	0	0.00
静岡市	3	0.27	0	0.00	6	0.55	44	4.00	0	0.00
中部	0	0.00	0	0.00	2	0.25	68	8.50	0	0.00
西部	5	0.63	0	0.00	0	0.00	48	6.00	0	0.00
浜松市	11	0.65	0	0.00	2	0.12	62	3.65	0	0.00

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	1123	10.40	152	1.41	8.0	16.0	66	42
賀茂	8	2.67	3	1.00	13.0	26.0	2	1
熱海	47	7.83	7	1.17	9.0	18.0	4	2
東部	121	7.56	13	0.81	8.0	16.0	9	7
御殿場	140	35.00	29	7.25	17.0	34.0	2	2
富士	107	11.89	16	1.78	11.0	22.0	5	4
静岡市	189	10.50	17	0.94	6.0	12.0	11	7
中部	67	5.58	23	1.92	8.0	16.0	8	4
西部	155	11.92	20	1.54	10.0	20.0	8	5
浜松市	289	10.70	24	0.89	7.0	14.0	17	10

【静岡県内保健所一覧】

保健所	管轄市町
賀茂	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町
熱海	熱海市、伊東市
東部	沼津市、三島市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町
御殿場	御殿場市、小山町
富士	富士市、富士宮市
静岡市	静岡市
中部	藤枝市、島田市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町
西部	磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町
浜松市	浜松市

第 41 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0	0.00	6	0.27	0	0.00	1	0.10	1.10	1.10
賀茂	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-
熱海	...	...	...	...	-	-	-	-	3	3.00
東部	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00
御殿場	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
富士	-	-	3	1.00	-	-	1	1.00	4	4.00
静岡市	-	-	1	0.20	-	-	-	-	2	1.00
中部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西部	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00
浜松市	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0.00	0.00	0.00	0.00
賀茂	-	-	-	-
熱海	-	-	-	-
東部	-	-	-	-
御殿場	...	...	...	...
富士	-	-	-	-
静岡市	-	-	-	-
中部	-	-	-	-
西部	-	-	-	-
浜松市	-	-	-	-

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

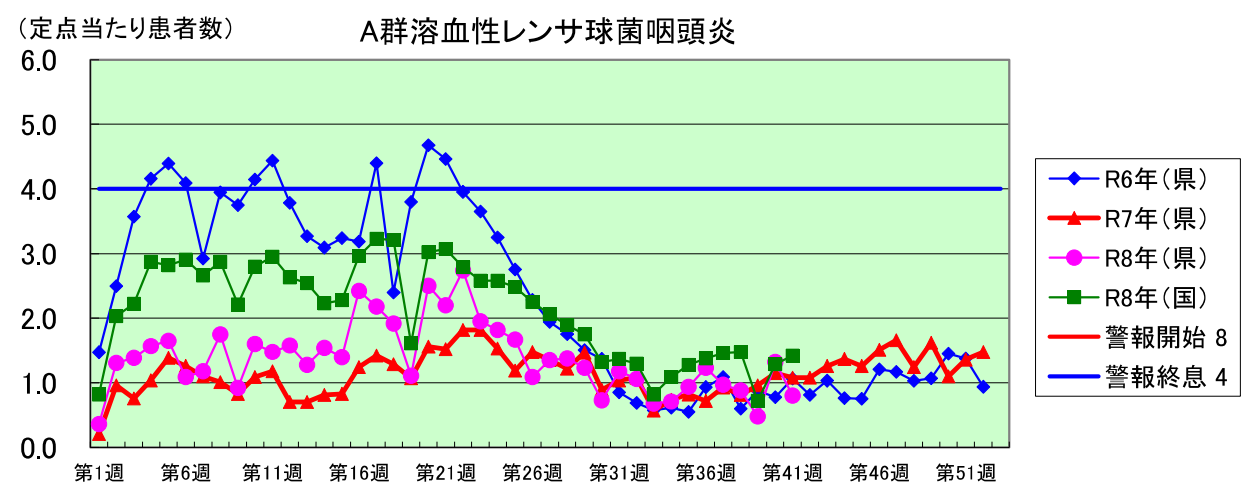
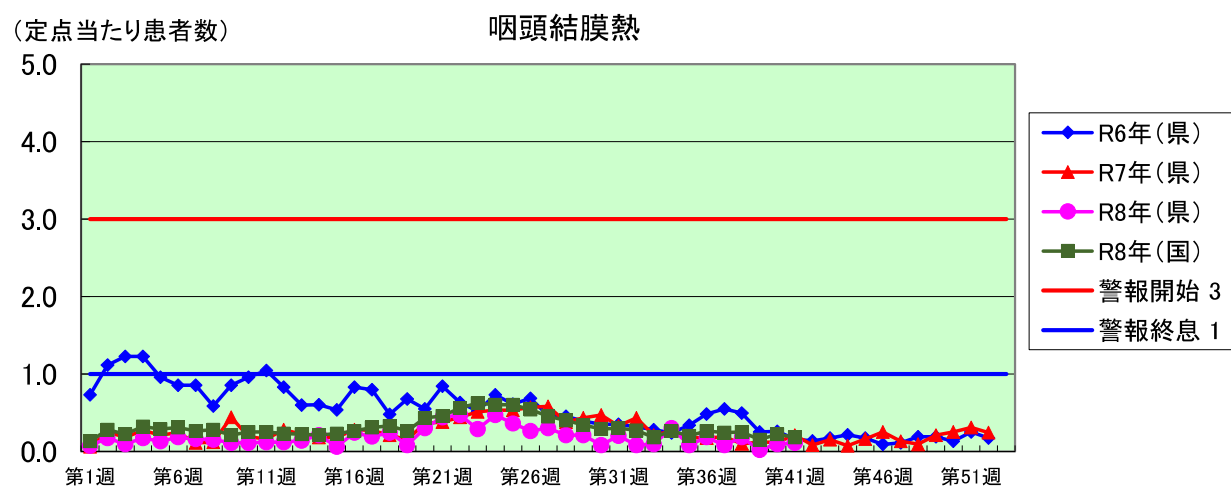
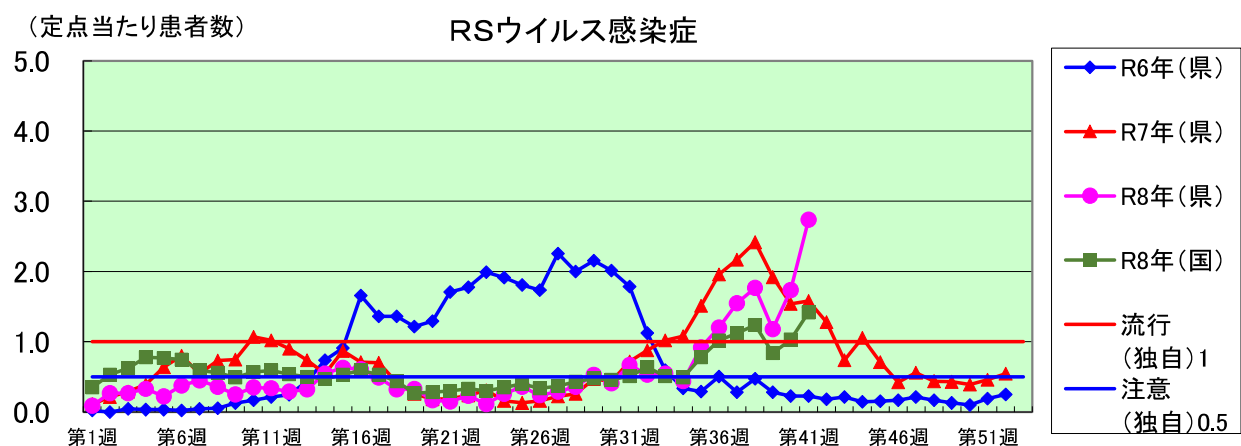
2026 第 41 週

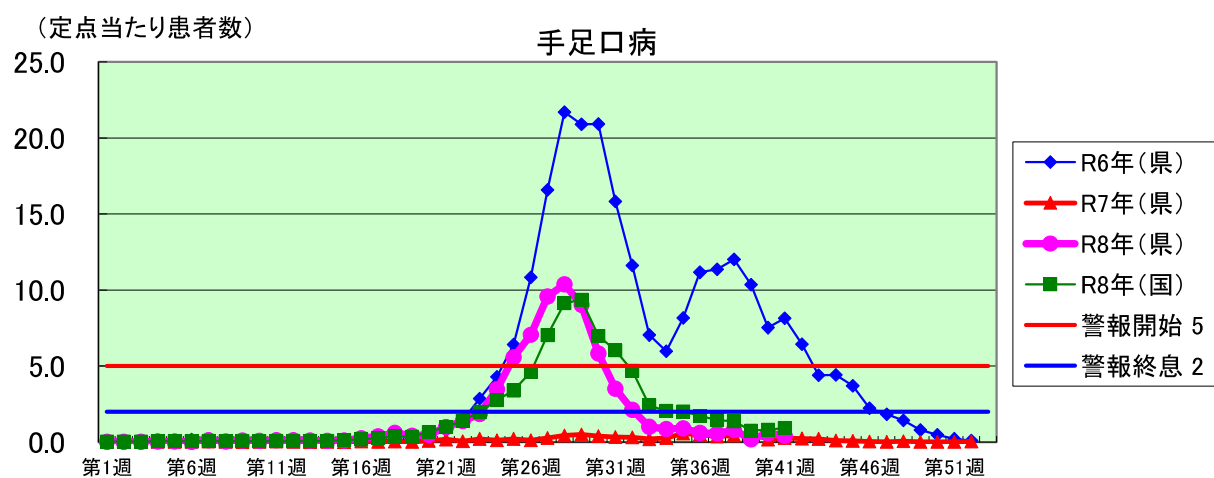
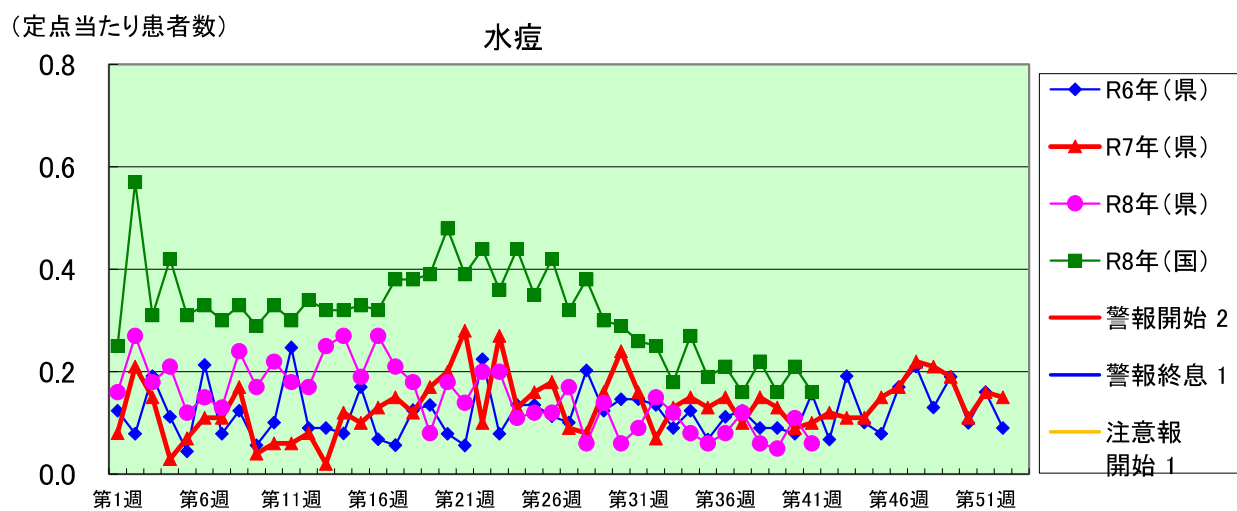
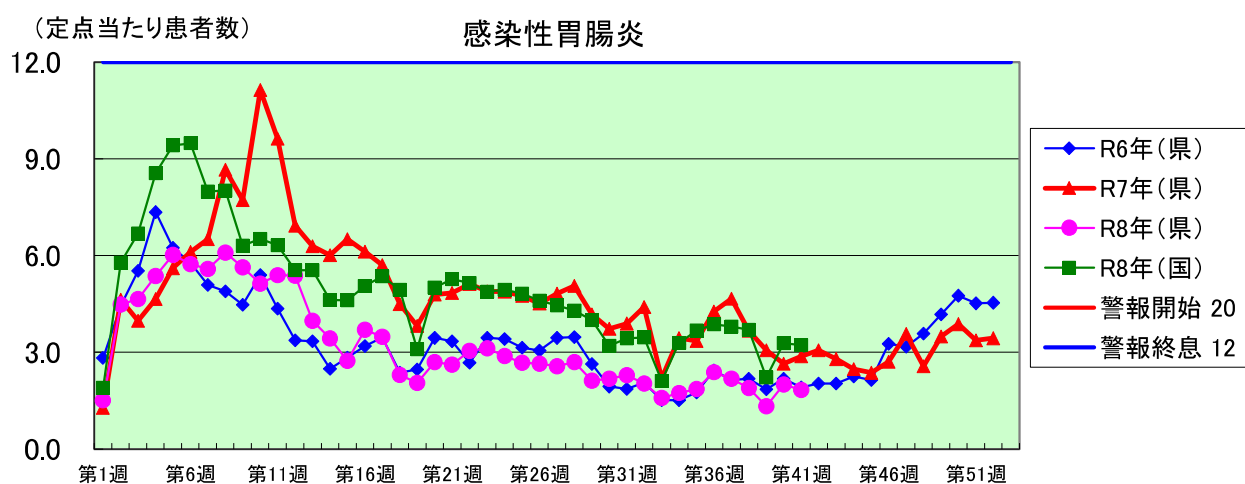
[illegible]

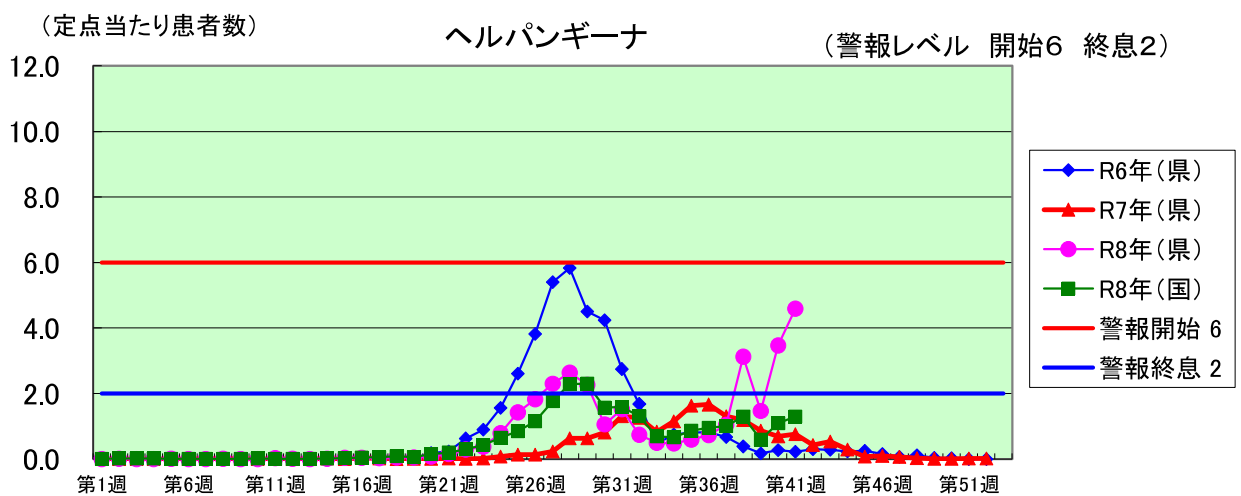
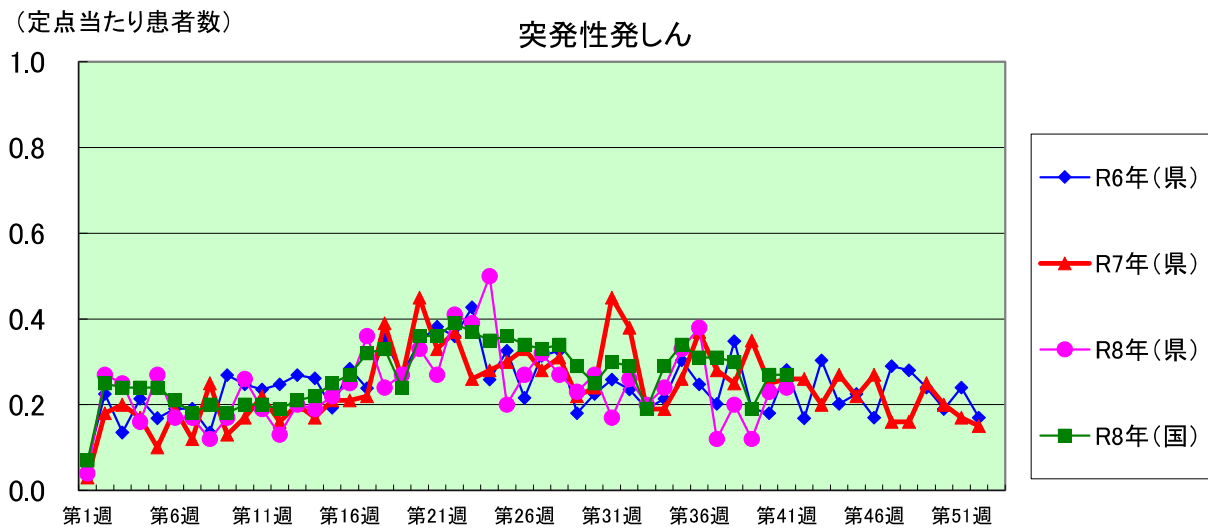
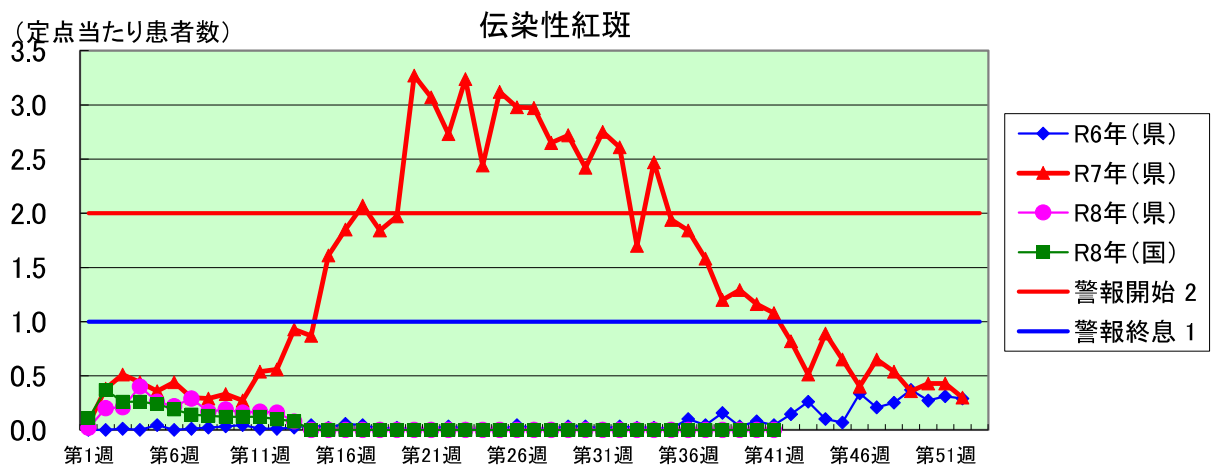
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2026 第 41 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上											計
RSウイルス感染症	0.06	0.35	1.14	0.56	0.36	0.17	0.05	0.05	0.02																2.74
咽頭結膜熱			0.02	0.03		0.02	0.02		0.02	0.02															0.11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.02		0.03	0.09	0.06	0.14	0.11	0.06	0.08	0.09	0.08	0.05	0.02											0.80
感染性胃腸炎	0.02	0.14	0.21	0.23	0.12	0.15	0.14	0.14	0.09	0.08	0.11	0.26	0.06	0.11											1.83
水痘							0.02				0.03	0.02													0.06
手足口病	0.03	0.05	0.11	0.11	0.06	0.02				0.02	0.02	0.02													0.41
伝染性紅斑																									-
突発性赤しん		0.03	0.15	0.03	0.03																				0.24
ヘルパンギーナ	0.06	0.35	0.74	0.82	0.67	0.62	0.45	0.30	0.11	0.14	0.12	0.18		0.03											4.59
流行性耳下腺炎											0.02														0.02
年齢階級区分(小児科+内科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計				
インフルエンザ	0.07	0.12	0.36	0.36	0.32	0.40	0.47	0.46	0.55	0.77	0.57	2.24	0.46	0.32	0.49	0.51	0.58	0.51	0.39	0.43	10.40				
新型コロナウイルス感染症	0.01	0.01	0.09	0.04	0.06	0.05	0.05	0.03	0.03	0.04	0.02	0.19	0.12	0.08	0.07	0.07	0.08	0.10	0.13	0.14	1.41				
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計					
急性出血性結膜炎																									
流行性角結膜炎							0.05							0.09	0.05		0.09				0.27				
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計								
細菌性髄膜炎																									
無菌性髄膜炎																0.10	0.10								
マイコプラズマ肺炎		0.40	0.20	0.20			0.20				0.10						1.10								
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																									
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																									

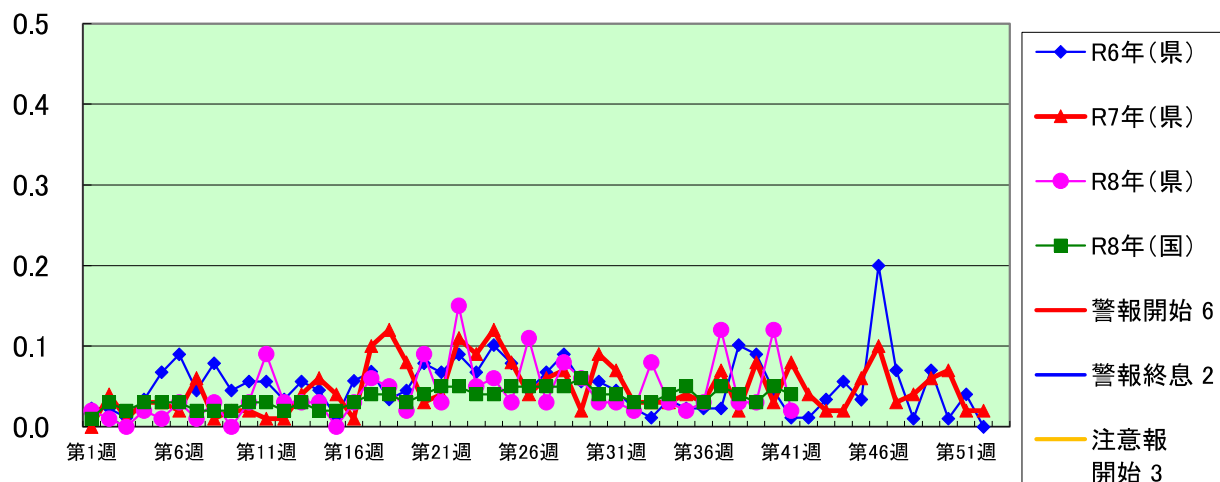






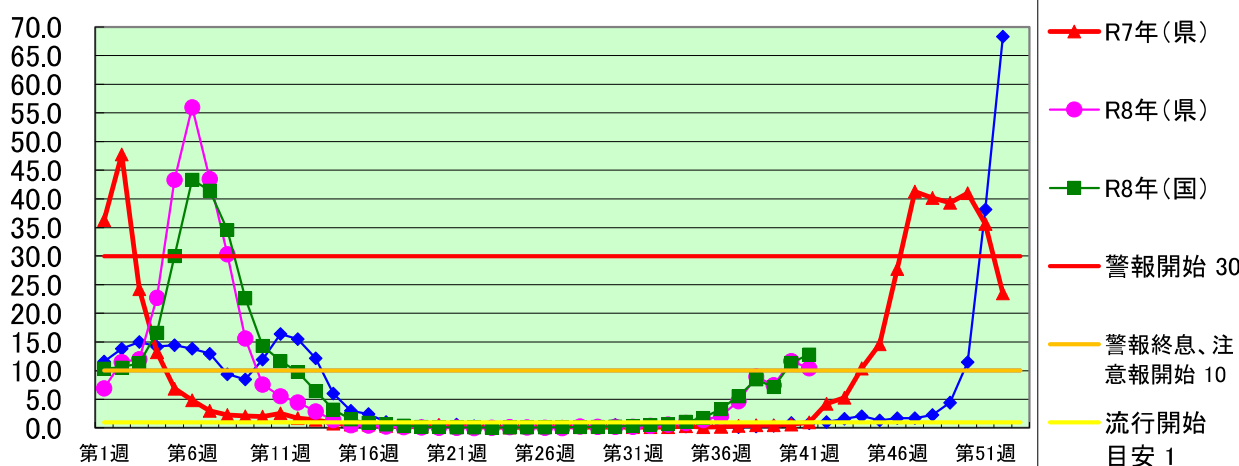
(定点当たり患者数)

流行性耳下腺炎



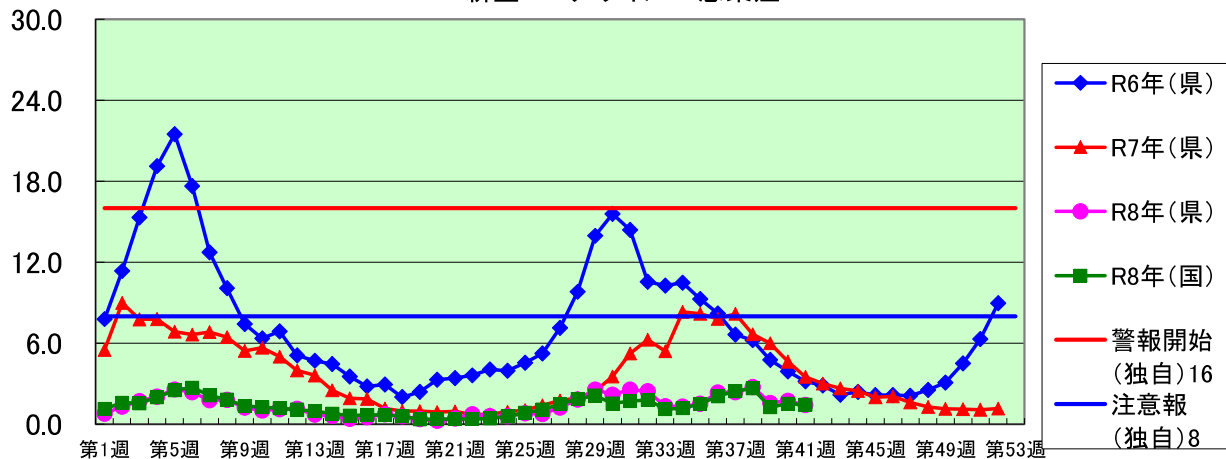
(定点当たり患者数)

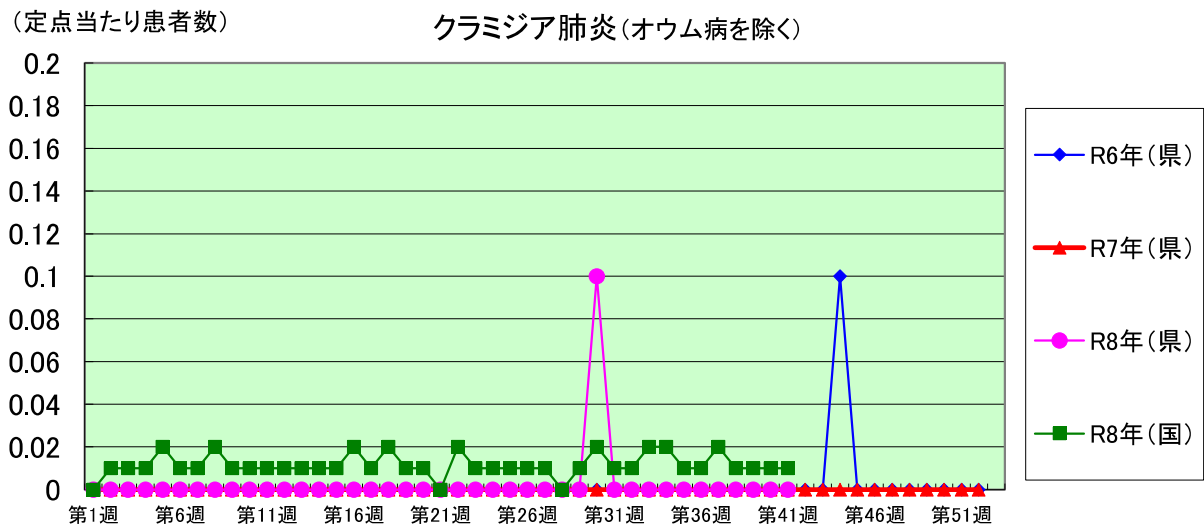
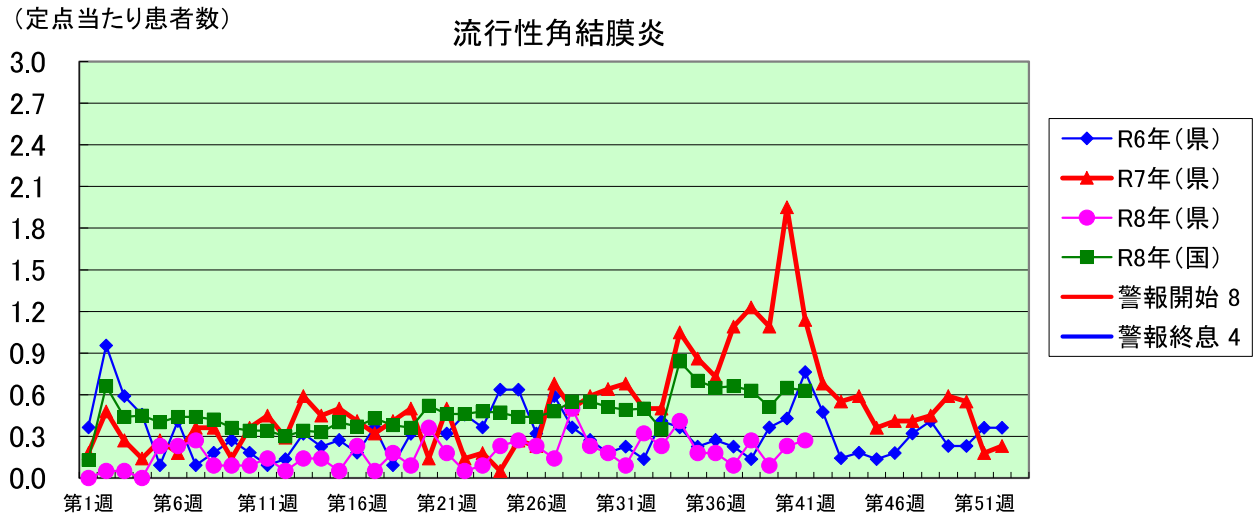
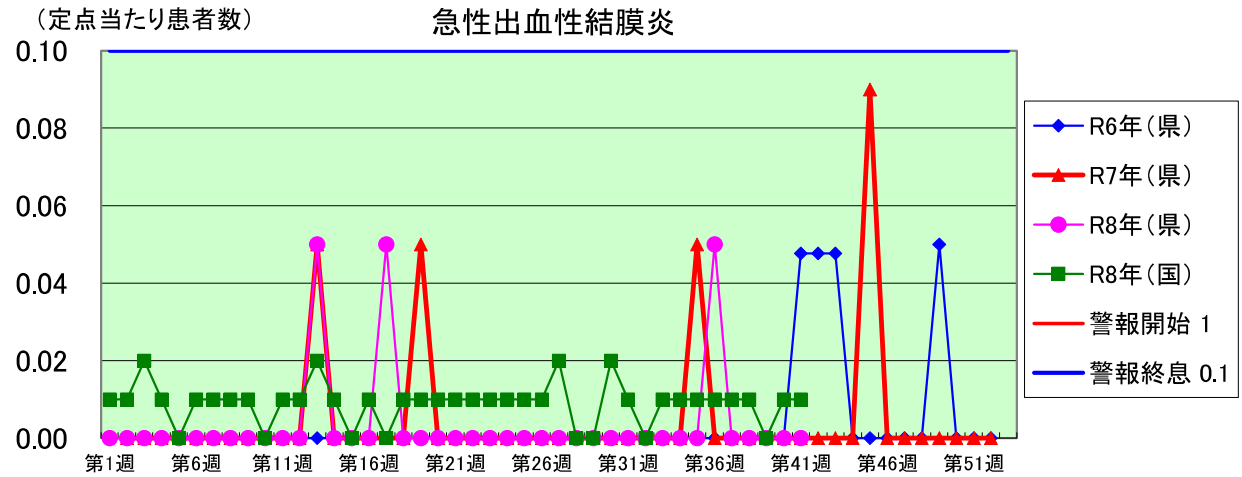
インフルエンザ



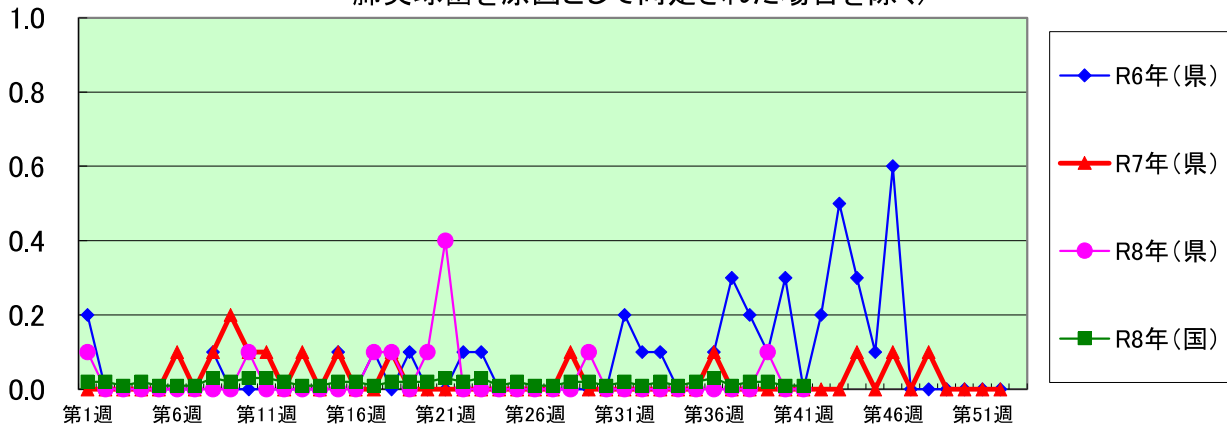
(定点当たり患者数)

新型コロナウイルス感染症

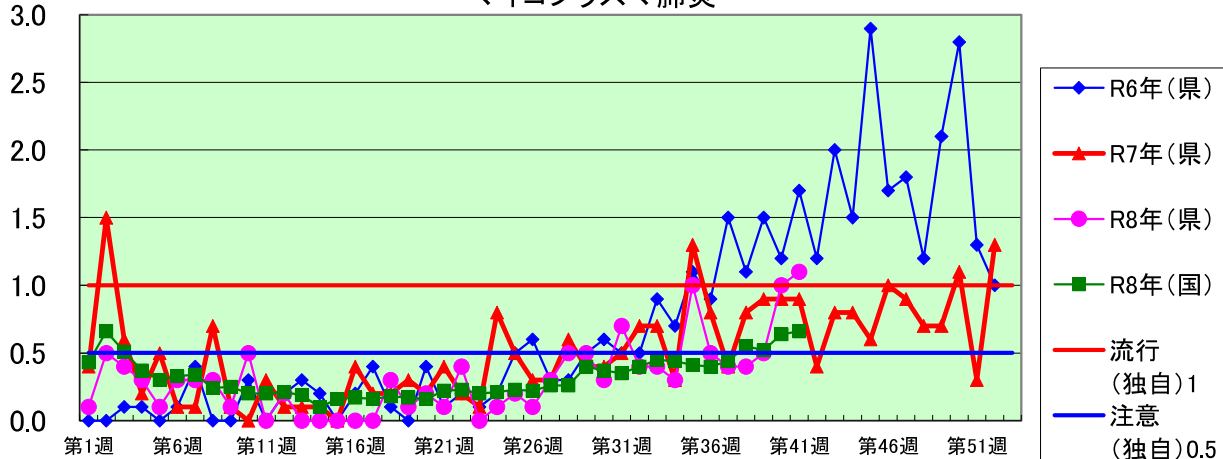




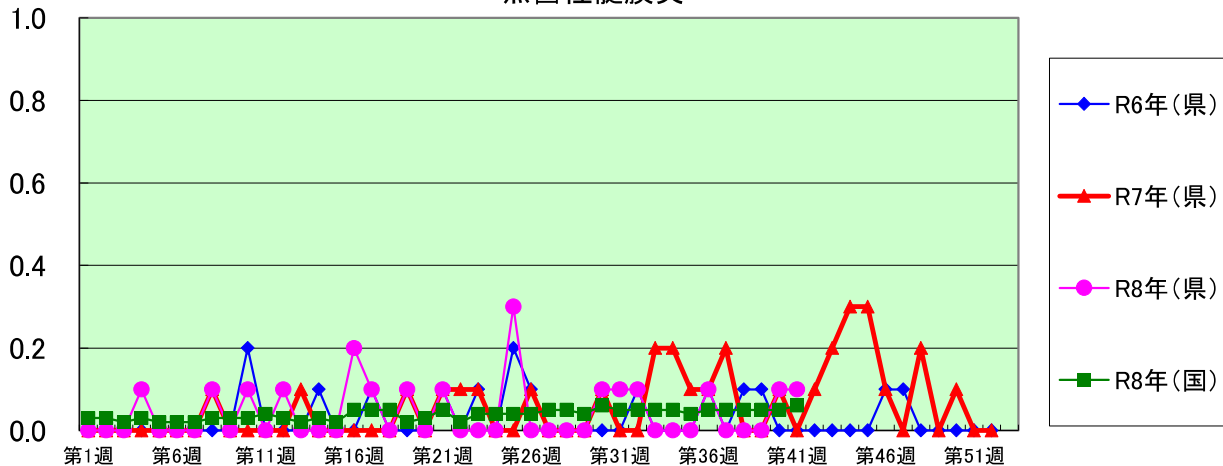
(定点当たり患者数)
細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)

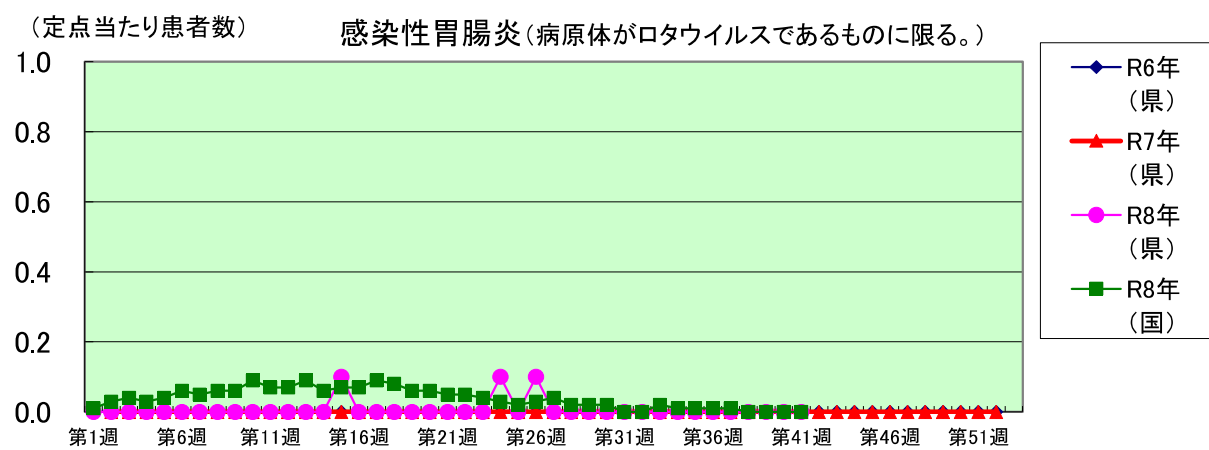


(定点当たり患者数)
マイコプラズマ肺炎



(定点当たり患者数)
無菌性髄膜炎





定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2026年 9 月

	静岡県							全国				
	4月	5月	6月	7月	8月	今月	計	6月	7月	8月	今月	計
性器クラミジア感染症	32	43	44	36	51	34	240	2344	2358	2132	2281	9115
性器ヘルペスウイルス感染症	22	16	11	18	18	15	100	1016	1024	891	937	3868
尖圭コンジローマ	8	7	7	12	5	10	49	540	537	484	486	2047
淋菌感染症	11	7	10	10	12	8	58	607	655	602	610	2474
性器クラミジア感染症(男)	16	15	18	15	17	17	98	1160	1167	1063	1153	4543
性器クラミジア感染症(女)	16	28	26	21	34	17	142	1184	1191	1069	1128	4572
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	7	4	5	9	5	4	34	374	378	308	343	1403
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	15	12	6	9	13	11	66	642	646	583	594	2465
尖圭コンジローマ(男)	2	6	5	6	3	4	26	402	383	349	349	1483
尖圭コンジローマ(女)	6	1	2	6	2	6	23	138	154	135	137	564
淋菌感染症(男)	9	4	7	6	8	5	39	451	477	437	459	1824
淋菌感染症(女)	2	3	3	4	4	3	19	156	178	165	151	650
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	23	19	21	19	31	21	134	1267	1271	1238	1297	5073
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	34	39	28	17	118
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2026年 9 月

	静岡県						全国			
	4月	5月	6月	7月	8月	今月	6月	7月	8月	今月
性器クラミジア感染症	1.07	1.43	1.47	1.20	1.70	1.13	2.42	2.42	2.23	2.34
性器ヘルペスウイルス感染症	0.73	0.53	0.37	0.60	0.60	0.50	1.05	1.05	0.93	0.96
尖圭コンジローマ	0.27	0.23	0.23	0.40	0.17	0.33	0.56	0.55	0.51	0.50
淋菌感染症	0.37	0.23	0.33	0.33	0.40	0.27	0.63	0.67	0.63	0.63
性器クラミジア感染症(男)	0.53	0.50	0.60	0.50	0.57	0.57	1.20	1.20	1.11	1.18
性器クラミジア感染症(女)	0.53	0.93	0.87	0.70	1.13	0.57	1.22	1.22	1.12	1.16
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.23	0.13	0.17	0.30	0.17	0.13	0.39	0.39	0.32	0.35
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.50	0.40	0.20	0.30	0.43	0.37	0.66	0.66	0.61	0.61
尖圭コンジローマ(男)	0.07	0.20	0.17	0.20	0.10	0.13	0.41	0.39	0.37	0.36
尖圭コンジローマ(女)	0.20	0.03	0.07	0.20	0.07	0.20	0.14	0.16	0.14	0.14
淋菌感染症(男)	0.30	0.13	0.23	0.20	0.27	0.17	0.46	0.49	0.46	0.47
淋菌感染症(女)	0.07	0.10	0.10	0.13	0.13	0.10	0.16	0.18	0.17	0.15
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.30	1.90	2.10	1.90	3.10	2.10	2.64	2.66	2.62	2.70
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	-	-	-	-	0.07	0.08	0.06	0.04
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

定点把握感染症(月報)保健所別集計表

2026年 9 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	34	1.13	15	0.50	10	0.33	8	0.27
賀茂	...	...	...	...	...	...	...	...
熱海	1	1	1	1	1	1	-	-
東部	2	0.4	1	0.2	1	0.2	-	-
御殿場	1	1	2	2	-	-	-	-
富士	3	1	3	1	2	0.67	-	-
静岡市	16	2.67	4	0.67	4	0.67	4	0.67
中部	4	1	-	-	-	-	4	1
西部	3	0.6	-	-	-	-	-	-
浜松市	4	0.8	4	0.8	2	0.4	-	-

保健所名	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	21	2.10	0	-	-	-
賀茂	2	2.00	-	-	0	0.00
熱海	-	-	-	-	0	0.00
東部	1	1.00	-	-	0	0.00
御殿場	...	...	...	...	0	0.00
富士	4	4.00	-	-	0	0.00
静岡市	10	5.00	-	-	0	0.00
中部	1	1.00	-	-	0	0.00
西部	3	3.00	-	-	0	0.00
浜松市	-	-	-	-	0	0.00

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

- * 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。
- * 薬剤耐性緑膿菌感染症は、令和8年4月6日から全数把握の対象となりました。

9 月

9 月

9 月

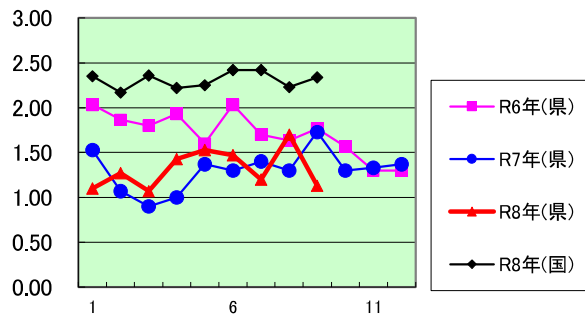
9 月

9 月

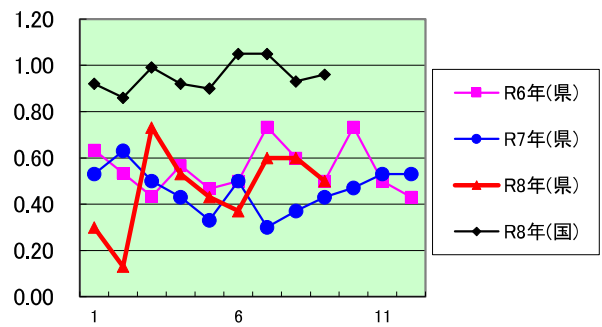
9 月

定点把握感染症(月報)推移グラフ

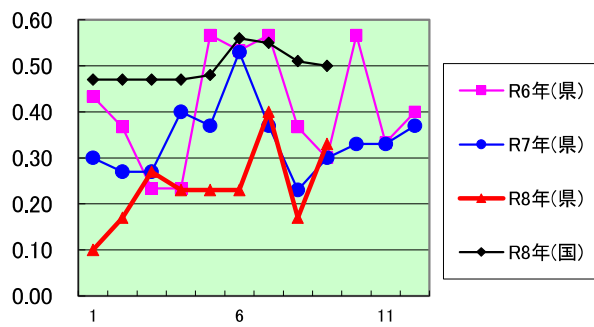
性器クラミジア感染症



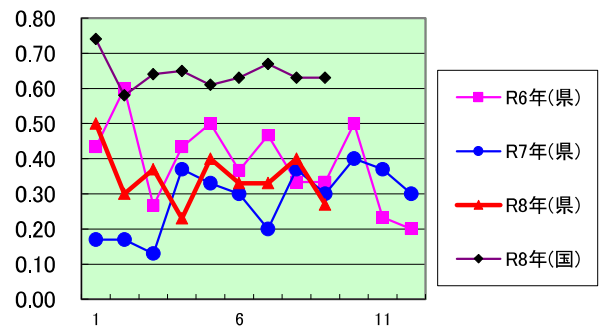
性器ヘルペスウイルス感染症



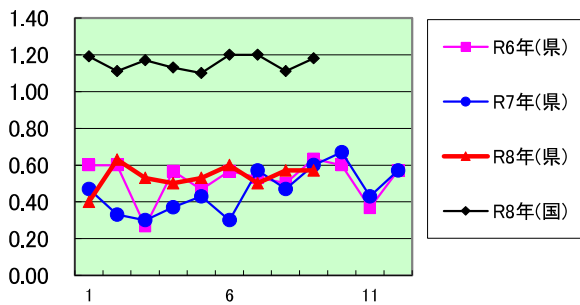
尖圭コンジローマ



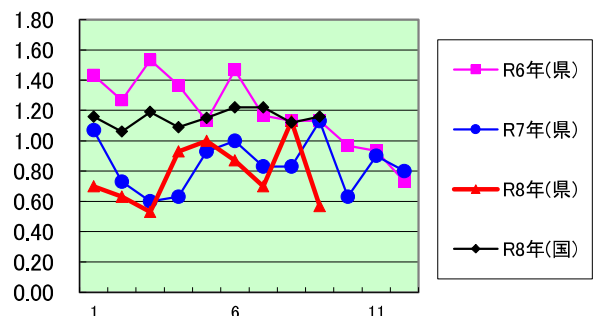
淋菌感染症



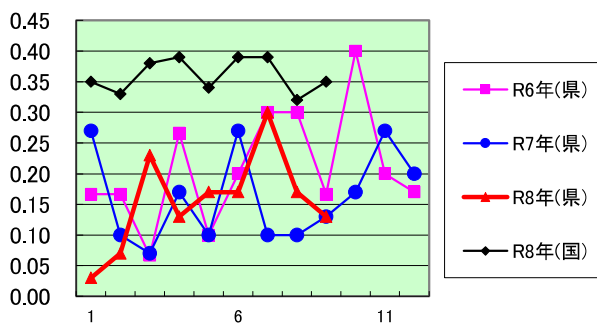
性器クラミジア感染症(男)



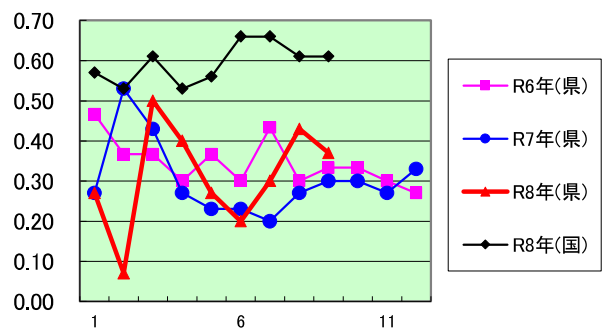
性器クラミジア感染症(女)



性器ヘルペスウイルス感染症(男)

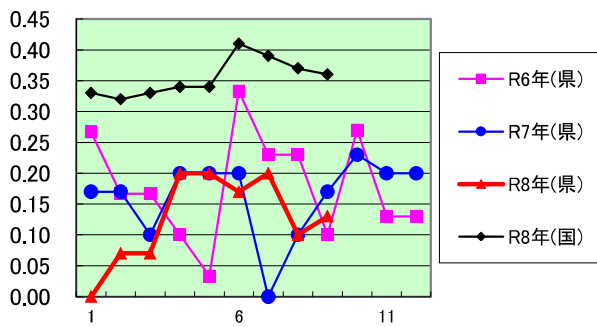


性器ヘルペスウイルス感染症(女)

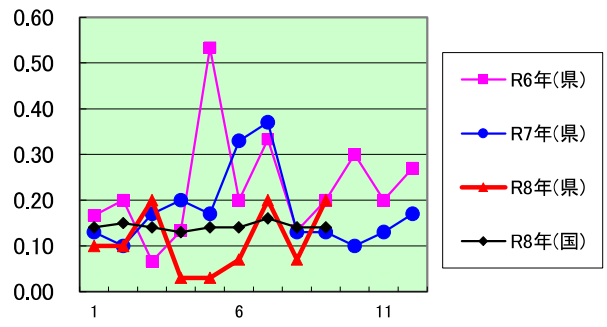


定点把握感染症(月報)推移グラフ

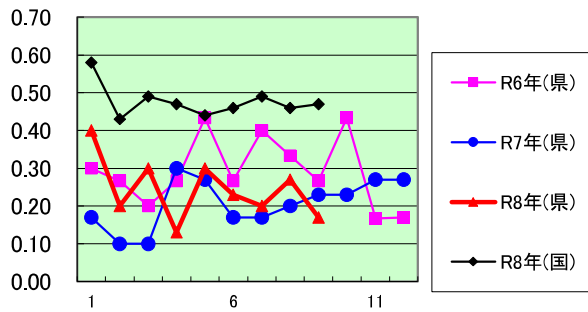
尖圭コンジローマ(男)



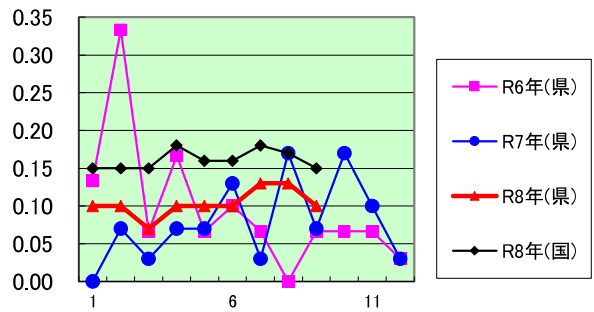
尖圭コンジローマ(女)



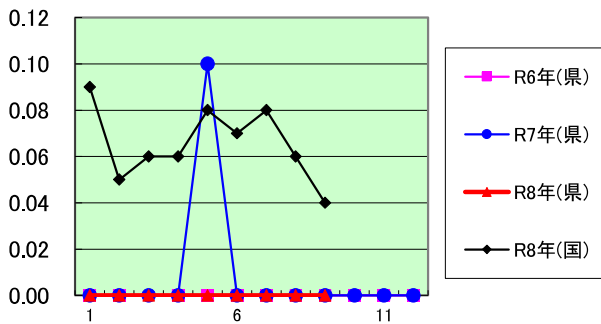
淋菌感染症(男)



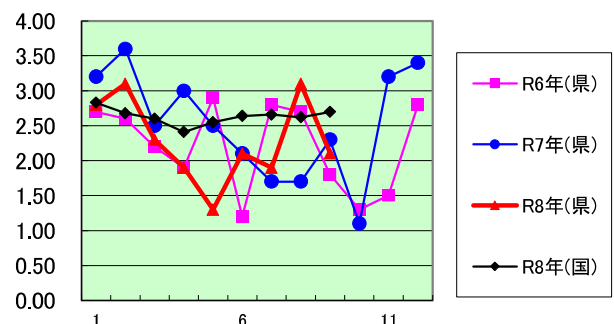
淋菌感染症(女)



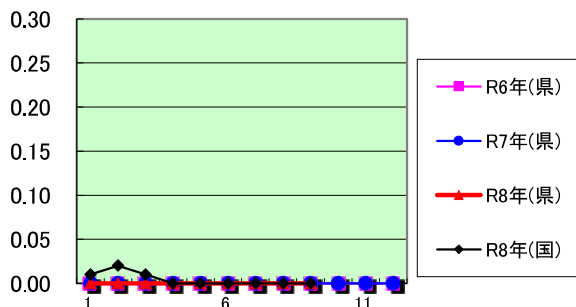
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2026年

第41週

10/5 ~ 10/11

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
 特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった 学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週 合計	前週	今シーズン 合計
下田市	学校・園の数										0	1
	学校・園の患者数合計										0	9
東伊豆町	学校・園の数										0	2
	学校・園の患者数合計										0	13
河津町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
南伊豆町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
松崎町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
西伊豆町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
熱海市	学校・園の数				1					1	0	1
	学校・園の患者数合計				7					7	0	7
伊東市	学校・園の数				1					1	1	2
	学校・園の患者数合計				7					7	17	24
沼津市	学校・園の数			2	3					5	4	13
	学校・園の患者数合計			32	32					64	53	197
三島市	学校・園の数										3	4
	学校・園の患者数合計										48	57
裾野市	学校・園の数		1		1					2	4	8
	学校・園の患者数合計		6		16					22	38	75
伊豆市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
伊豆の国市	学校・園の数				1					1	0	2
	学校・園の患者数合計				44					44	0	49
函南町	学校・園の数			1						1	1	2
	学校・園の患者数合計			8						8	10	18
清水町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
長泉町	学校・園の数			1						1	1	2
	学校・園の患者数合計			11						11	13	24
御殿場市	学校・園の数			2	1					3	1	5
	学校・園の患者数合計			17	32					49	5	61
小山町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
富士市	学校・園の数			1	1					2	1	11
	学校・園の患者数合計			8	31					39	8	223
富士宮市	学校・園の数										0	1
	学校・園の患者数合計										0	8
静岡市清水区	学校・園の数			2	1		1			4	1	11
	学校・園の患者数合計			18	15		11			44	6	116
静岡市葵区	学校・園の数			5	1					6	2	16
	学校・園の患者数合計			83	11					94	38	215
静岡市駿河区	学校・園の数			1	1					2	2	7
	学校・園の患者数合計			24	10					34	31	94

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2026年

第41週

10/5 ~ 10/11

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった 学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週 合計	前週	今シーズン 合計
島田市	学校・園の数										0	3
	学校・園の患者数合計										0	41
焼津市	学校・園の数										3	7
	学校・園の患者数合計										26	74
藤枝市	学校・園の数		1		1					2	1	12
	学校・園の患者数合計		16		9					25	8	123
牧之原市	学校・園の数			1	1					2	0	2
	学校・園の患者数合計			10	9					19	0	19
吉田町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
川根本町	学校・園の数										0	1
	学校・園の患者数合計										0	6
磐田市	学校・園の数			1						1	1	2
	学校・園の患者数合計			6						6	10	16
掛川市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
袋井市	学校・園の数			1						1	1	5
	学校・園の患者数合計			18						18	10	67
湖西市	学校・園の数										0	2
	学校・園の患者数合計										0	8
御前崎市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
菊川市	学校・園の数				1					1	1	2
	学校・園の患者数合計				19					19	9	28
森町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
浜松市中央区	学校・園の数			8	6	1				15	5	26
	学校・園の患者数合計			95	102	12				209	48	308
浜松市浜名区	学校・園の数			5						5	4	11
	学校・園の患者数合計			47						47	45	142
浜松市天竜区	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
県内合計	学校・園の数		2	31	21	1	1			56	37	161
	学校・園の患者数合計		22	377	344	12	11			766	423	2,022
2026-2027 シーズン 施設別合計	学校・園の数	1	5	90	48	13	3	1				
	学校・園の患者数合計	15	46	968	820	134	19	20				

・引き続き、咳エチケット※、手洗い、換気等、基本的な感染対策をお願い致します。
(※ 咳をするときに服のそでやハンカチで口鼻をおおう、マスクの適切な着用が可能なら咳の出るときはマスクを着ける)
・第36週から新シーズンとして集計しています。

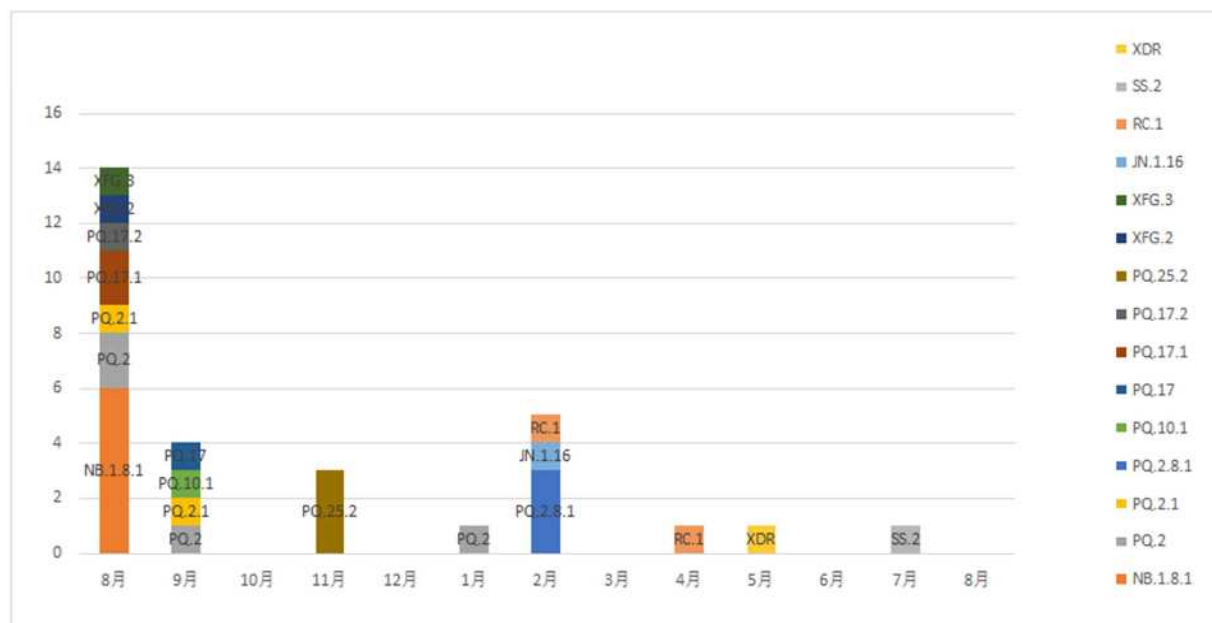
新型コロナ変異株ゲノム解析結果について（月１回更新）

<変異株の件数> 8月24日（月）～9月20日（日）判明分（解析なし）

・なし

ゲノム解析結果の系統別判明（検体採取日集計）

系統名	2025					2026							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
解析不能													
NB.1.8.1	6												
PQ.2	2	1				1							
PQ.2.1	1	1											
PQ.2.8.1							3						
PQ.10.1		1											
PQ.17		1											
PQ.17.1	2												
PQ.17.2	1												
PQ.25.2				3									
XFG.2	1												
XFG.3	1												
JN.1.16							1						
RC.1							1		1				
SS.2												1	
XDR										1			
合計	14	4	0	3	0	1	5	0	1	1	0	1	0



（県内政令市実施分を含む）